EPSON
EXCEED YOUR VISION

ネットワークガイド

本書はネットワークプリンターとして使うために必要なネットワーク設定手順やスマートフォンなどの機器との接続方法を説明しています。

また、各種トラブルの解決方法やお客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。

目的に応じて必要な項目を参照してください。

本書は、共通のマニュアルとなっているため、お使いの製品の仕様によっては、記載の一部が該当しないことがありますのでご了承ください。

プリンターをサーバー経由で使う方法、セキュリティーやシステム管理者が設定する項目は、『システム管理者ガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

NPD4943-01
© 2014 Seiko Epson Corporation. All rights reserved.

マークの意味

!重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、プリンターの故障やソフトウェアの動作不良の原因になる可能性があります。

参考 補足説明や参考情報を記載しています。

☞ 関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 7 の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.7.x の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 8.1 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 8 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2012 operating system 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 R2 operating system 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版

本書では、各オペレーティングシステムをそれぞれ Windows 8[*1]、Windows 7、Windows Vista、Windows XP、Windows Server 2012[*2]、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008、Windows Server 2003[*3] と表記しています。また、これらの総称名として「Windows」を使用しています。

*1：Windows 8.1 含む
*2：Windows Server 2012 R2 含む
*3：Windows Server 2003 R2 含む

Mac OS X の表記

本書では OS X Mavericks を「Mac OS X v10.9.x」、OS X Mountain Lion を「Mac OS X v10.8.x」と表記しています。また、「Mac OS X v10.9.x」「Mac OS X v10.8.x」「Mac OS X v10.7.x」「Mac OS X v10.6.x」「Mac OS X v10.5.8」の総称として「Mac OS X」を使用しています。

商標

EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
Mac OS、OS X、Bonjour、iPhone は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。AirPrint は、Apple Inc. の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
AOSS（TM）は株式会社バッファローの商標です。
Android は Google Inc. の商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

もくじ

もくじ 3
設定の前に 4
動作環境 ... 4
印刷方法の概要と特徴 ... 4
接続方法の確認と導入手順 ... 6
プリンターのネットワーク設定 8
設定方法の紹介 ... 8
ソフトウェアディスクで設定 ... 8
操作パネルで設定 ... 8
設定ソフトウェアで設定 ... 15
印刷をするコンピューターの設定 16
Windows の場合 ... 16
Mac OS X の場合 ... 22
Wi-Fi Direct での接続設定 23
インクジェット複合機の場合 ... 23
インクジェットプリンターの場合 ... 24
機器からの接続 ... 25
アドホックモードでの接続設定 29
コンピューターのアドホックネットワーク設定 ... 29
プリンターとコンピューターの設定 ... 33
2 台目以降のコンピューターを追加接続 34
Windows の場合 ... 34
Mac OS X の場合 ... 34
ネットワーク接続の確認 35
ネットワーク情報の確認 ... 35
ネットワーク接続診断 ... 37
設定 / 印刷で困ったときは 38
ネットワーク接続診断のエラー ... 38
設定や印刷に関するトラブル ... 42
Mac OS X に関するトラブル ... 43
AirPrint に関するトラブル ... 44
Wi-Fi Direct（シンプル AP モード）での
トラブル ... 44
Web サービスに関するトラブル
（対応機種のみ）... 47
その他の機能 48
スキャナーの接続設定
（インクジェット複合機のみ）... 48
ファイル共有設定
（ファイル共有機能対応機種のみ）... 50
プリンターと機器を一時的に接続するには ... 52
ソフトウェアのご案内 57
印刷用ソフトウェア - EpsonNet Print ... 57
設定ソフトウェア ... 57
Android/iOS 向けアプリ ... 60
付属のソフトウェア使用時のトラブル ... 60
付録 63
ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識 ... 63
IP アドレス（IPv4 アドレス）の設定 ... 64
PING コマンドによる通信確認 ... 66
無線 LAN を無効にする ... 68
ネットワーク設定を初期化する ... 68
機種別ネットワーク機能一覧 ... 70
オープンソースソフトウェアのライセンス契約 ... 82
Info-ZIP copyright and license ... 82
FIRMWARE LICENSE
（無線 LAN 関連の記載）... 83

設定の前に

ネットワークインターフェイスの機能や動作環境と、導入作業の概要などを説明します。

動作環境

本製品のネットワークの動作環境と対応する印刷方法は以下の通りです。

OS	対応プロトコルおよび印刷方法	IPv4	IPv6
Windows XP Windows Server 2003 R2 Windows Server 2003	TCP/IP（標準 TCP/IP 印刷）	○	×
	EpsonNet Print	○	×
	FTP 印刷	○	×
Windows Vista Windows 7 Windows 8 Windows 8.1 Windows Server 2008 Windows Server 2008 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2012 R2	TCP/IP（標準 TCP/IP 印刷）	○	○
	EpsonNet Print	○	×
	WSD 印刷	○	○
	FTP 印刷	○	○
Mac OS X v10.5.8 ～ v10.9.x	Bonjour	○	○
	IPP（AirPrint）	○	○

最新の OS 対応状況の詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。
<http://www.epson.jp/support/taiou/os/>

各機種の対応ネットワーク機能一覧は、以下をご覧ください。

☞ 70 ページ「機種別ネットワーク機能一覧」

!重要 プリンターをダイヤルアップルーター使用中の環境に設置するときは、必ずその環境のセグメントに合った IP アドレスを設定してください。正しいアドレスを設定しないと、不必要なダイヤルアップが行われる可能性があります。

印刷方法の概要と特徴

EpsonNet Print 印刷（TCP/IP プロトコルを使用）

- プリンターの IP アドレスが、サーバーやルーターの DHCP 機能によって変更になっても、IPv4 アドレスを自動追従します。
- ルーターを越えた場所にあるプリンター（別セグメントのプリンター）を使用できます。
- 印刷データの送信プロトコル（LPD/Epson 拡張 LPD/RAW）を使い分けることで、印刷方法を 3 種類から選択できます。
- Windows のスプーラー画面の上部に、プリンターのステータスを表示します。
- IPv6 アドレスには対応していません。

標準 TCP/IP 印刷（TCP/IP プロトコルを使用）

- Windows に標準搭載されている印刷方法です。
- ルーターを越えた場所にあるプリンター（別セグメントのプリンター）を使用できます。
- イベントビューアーを使用して印刷ログ（記録）が取れます。
- IP アドレスの設定が必要です。

WSD 印刷

- Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008 に標準搭載されている印刷方法です。WSD とは Web Services on Devices の略で、ネットワーク上のコンピューターやプリンターなどを自動的に探索するための仕組みです。
- WSD でプリンターを使用するとき、Windows の［Windows FAX とスキャン］からスキャン機能も使用できます。
- プリンターの IP アドレスを変更しても、自動で追従します。
- ルーターを越えた場所にあるプリンター（別セグメントのプリンター）で印刷できます。

Bonjour 印刷

- プリンターの IP アドレスが、サーバーやルーターの DHCP 機能によって変更になっても、設定し直す必要がありません。

接続方法の確認と導入手順

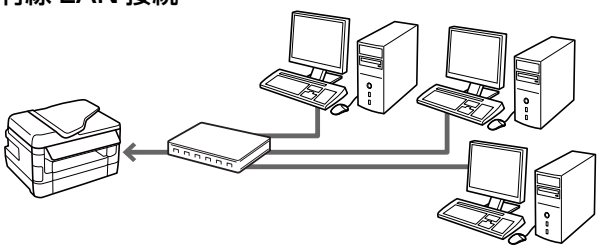
ネットワーク環境でプリンターを使うには 4 つの接続方法があります。以下の説明を参考に、どの接続方法を使用するか決定してから導入手順を確認してください。

なお、サーバー経由でプリンターを共有する接続方法は、『システム管理者ガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

重要 無線 LAN（インフラストラクチャーモード）と有線 LAN の同時利用はできません。

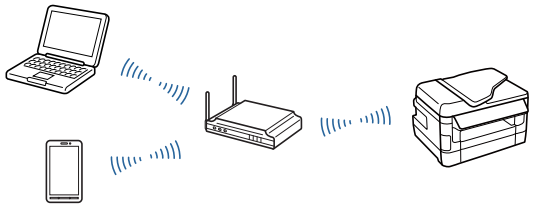
参考 ネットワークの接続設定を付属のソフトウェアディスクを使って自動で行いたいときは、『準備ガイド』（紙マニュアル）をご覧になりセットアップを行ってください。

有線 LAN 接続



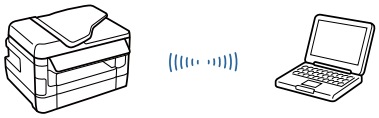
長所： 混信の影響を受けない
短所： LAN ケーブルの配線が必要

無線 LAN(インフラストラクチャーモード)



長所： アクセスポイントの電波が届く範囲では、設置が自由
短所： 電波状況の影響を受ける可能性がある

無線 LAN(アドホック接続)



長所： ネットワーク機器が不要
短所： 対応するセキュリティーモードは WEP のみ

動作環境の確認

☞ 4 ページ

コンピューターのネットワーク設定

※各 OS の説明書を確認してください。

プリンターのネットワーク設定

☞ 8 ページ

印刷をするコンピューターの設定

☞ 16 ページ

機器からの接続（スマートフォンなどの場合）

☞ 26 ページ

コンピューターのアドホックネットワーク設定

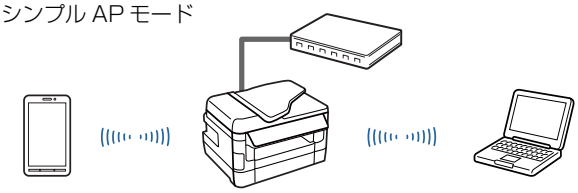
☞ 29 ページ

プリンターとコンピューターの設定

☞ 33 ページ

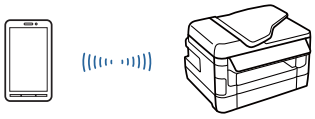
無線 LAN(Wi-Fi Direct 接続)

シンプル AP モード



長所： 有線 LAN 接続との同時利用が可能
短所： シンプル AP モードで接続できる機器は 4 台まで

Wi-Fi Direct モード



長所： 一時的に接続を切り替えて利用が可能
短所： 接続の度、接続設定が必要

接続機器のネットワーク設定

↓ ※機器のマニュアルを確認してください。

アプリのインストール（Android/iOS 機器）

☞ 60 ページ

プリンターの Wi-Fi Direct 接続設定

☞ シンプル APモード 23ページ
☞ Wi-Fi Directモード 52ページ

機器からの接続

☞ 25 ページ

接続方法と印刷方法が決定したら、コンピューター側のネットワークが設定済みであることを確認してから、プリンターのネットワーク設定に進んでください。

☞ 8 ページ「プリンターのネットワーク設定」

プリンターのネットワーク設定

コンピューターのネットワーク設定が終了していることを確認してから、プリンターのネットワーク設定を行います。プリンターの準備が終了し、印刷できる状態になっているか確認してください。プリンターの準備が終わっていない場合は『準備ガイド』（紙マニュアル）をご覧になり、プリンターの準備をしてください。

設定方法の紹介

プリンターのネットワーク設定をするには、以下の方法があります。

- 付属のソフトウェアディスクで設定する
- 操作パネルで設定する
- 付属のソフトウェアを使って設定する

各設定方法の詳細を確認して、設定方法を決定してください。

参考
- ネットワーク設定中は、同時にその他の設定変更を行えないように、また動作中のプリンターに影響が出ないようにプリンターの操作パネルがロックされます。また、プリンター動作中にネットワーク設定ができないようになっています。
- プリンターの各種設定項目を一括管理するために、一般の利用者がプリンターの設定を変更できないように管理者パスワードを設定してパネルをロックできます。ロックされている場合は、ネットワーク関連の設定変更には管理者のパスワードが必要になります。
  ☞『操作ガイド』（紙マニュアル / 電子マニュアル）または『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）
  ☞『システム管理者ガイド』（電子マニュアル）

ソフトウェアディスクで設定

付属のソフトウェアディスクを使って、ソフトウェアのインストールとネットワークの設定を自動で行います。設定するコンピューターに付属のソフトウェアディスクをセットして、「InstallNavi.exe」を実行してください。画面の指示に従ってセットアップをしてください。

参考 コンピューターにディスクドライブがない、または Mac OS X の場合は以下をご覧ください。
<http://epson.sn/>

操作パネルで設定

プリンターの操作パネルからネットワーク項目を設定します。

ネットワーク詳細設定

ネットワーク詳細設定のパネル操作手順を説明します。

インクジェット複合機の場合

1 **ホーム画面で を押します。**

2 **ネットワーク概要表示画面で［メニュー］を押します。**

3 **［ネットワーク設定］-［ネットワーク詳細設定］を選択します。**

参考 プリンターに管理者設定がされ、パネルがロックされているときはパスワードを入力する画面になります。管理者のパスワードを入力してください。

4 **ネットワーク詳細設定画面で設定する項目を選択し、設定をします。**
設定項目の詳細は、以下をご覧ください。
☞ 9 ページ「ネットワーク詳細設定の項目説明」

インクジェットプリンターの場合

1 **ホーム画面で［メニュー］を選択します。**

2 **［システム管理設定］を選択します。**

> 参考 プリンターに管理者設定がされ、パネルがロックされているときはパスワードを入力する画面になります。管理者のパスワードを入力してください。

3 **［ネットワーク設定］-［ネットワーク詳細設定］を選択します。**
設定項目の詳細は、以下をご覧ください。
☞ 9 ページ「ネットワーク詳細設定の項目説明」

ネットワーク詳細設定の項目説明

ネットワーク詳細設定画面では以下の項目が設定できます。機種によって設定できる項目が異なります。操作パネルに表示されない項目は、Web Config または EpsonNet Config で設定ができます。

項目名	内容
プリンター名	プリンター名「EPSONXXXXXX」（X は MAC アドレスの下 6 桁）が表示されます。選択するとネットワークで表示するプリンター名を変更できます。文字の入力方法はプリンターのマニュアルをご覧ください。 プリンター名として入力できる文字は以下の通りです。 • 文字数：2 ～ 15（1 文字は不可） • 使用可能文字：A ～ Z、a ～ z、-（半角スペースは不可） • 先頭に使用できる文字：A ～ Z、a ～ z（0 ～ 9、- は不可） • 末尾に使用できる文字：A ～ Z、a ～ z、0 ～ 9（- は不可）
TCP/IP アドレス	DHCP サーバーによる IP アドレス自動取得機能を有効にしているときは「自動」を選択してください。固有の IP アドレスを設定するときは「手動」を選択し、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。 自動 / 手動
DNS サーバー	DNS サーバーを設定します。TCP/IP アドレスを「手動」にしたときは、DNS サーバーも「手動」に変更されます。 自動 / 手動
プロキシサーバー	プロキシサーバーを使用するかどうかをします。使用するときは、プロキシサーバー名とポート番号を設定します。 使用する / 使用しない
メールサーバー	メール転送機能やファクス転送機能を利用するときはメールサーバー設定を行います。メールサーバーへの接続テストも行えます。 メールサーバーの設定は、Web Config からもできます。詳しくは『システム管理者ガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。
IPv6 アドレス	IPv6 アドレスを使用するかどうかを設定します。 有効 / 無効
Wi-Fi Direct	Wi-Fi Direct による接続を許可するかどうかを設定します。 有効 / 無効
MS Network 共有	MS Network のサービスを利用するかどうかを設定します。 無効にすると、ネットワークスキャンによるファイル共有が無効になります。 有効 / 無効
IPsec/IP フィルタリング	IPsec/IP フィルタリングを無効にします。無効になっているときは通知されます。 有効にするときは、Web Config から設定してください。詳しくは『システム管理者ガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

項目名	内容
IEEE802.1X	IEEE802.1X を無効にします。無効になっているときは通知されます。 有効にするときは、Web Config から設定してください。詳しくは『システム管理者ガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

以上で終了です。

無線 LAN 設定 - 手動設定 -

プリンターの操作パネルの案内に従って、無線 LAN を設定する手順を説明します。

!重要 手動でのネットワーク設定には以下の情報が必要です。確認してから作業を開始してください。わからないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- SSID（ネットワーク名）
- セキュリティーキー（パスワード）

インクジェット複合機の場合

1 **ホーム画面で を押します。**

2 **ネットワーク概要表示画面で［無線 LAN 設定］を押します。**

参考 プリンターに管理者設定がされ、パネルがロックされているときはパスワードを入力する画面になります。管理者のパスワードを入力してください。

3 **無線 LAN 設定画面で［手動設定］を選択します。**

4 **接続したいネットワーク（SSID）を選択します。**
接続したい SSID が表示されないときは、アクセスポイントの設定を確認してください。
SSID は無線通信時の混信を避けるために付けられた識別子（ネットワーク名）で、最大 32 文字の英数字で表示されます。無線 LAN のアクセスポイントと各端末（アクセスポイントの子機や無線 LAN 対応プリンターなど）に同じ SSID を設定し、SSID が一致する端末としか通信しないようにすることで混信を防ぐことができます。SSID がわからないときは、アクセスポイント（ブロードバンドルーターなど）のマニュアルをご覧になるか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

参考 アクセスポイントのステルス機能（不正アクセス防止のために SSID を周囲に通知することを停止する機能）が有効になっているなど、プリンターから SSID を検出できない場合は、［その他の SSID］を選択して、SSID を入力してください。

5 **セキュリティーキーを入力し、［次へ］を押します。**
セキュリティーキーを押すと、入力画面が表示されます。
セキュリティーキーは大文字と小文字を区別して入力してください。文字の入力方法は、プリンターのマニュアルをご覧ください。
セキュリティーキーがわからないときは、アクセスポイント（ブロードバンドルーターなど）のマニュアルをご覧になるか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

6 **設定確認画面で設定内容を確認し、よければ［設定開始］を押します。**

参考 外部メモリーに関するメッセージが表示されたら、内容を確認し［はい］を選択します。

7 **ネットワーク診断レポートを印刷する場合は、A4 サイズの普通紙をセットして、プリンターのスタートボタンを押します。**
設定を終了する場合は、［終了］を押します。
診断レポートの見方とエラーメッセージの対処方法は、以下のページをご覧ください。
☞ 38 ページ「ネットワーク接続診断のエラー」

ネットワーク接続に成功すると、ホーム画面のアイコンが に変わります。

以上で終了です。

操作パネルでの設定が終了したら、次に印刷するコンピューターを設定してください。
☞ 16 ページ「印刷をするコンピューターの設定」

インクジェットプリンターの場合

1 **ホーム画面で［無線 LAN 設定］を選択します。**

2 **［手動設定］を選択します。**

> 参考 プリンターに管理者設定がされ、パネルがロックされているときはパスワードを入力する画面になります。管理者のパスワードを入力してください。

3 **接続したい SSID（ネットワーク名）を選択します。**
接続したい SSID が表示されないときは、アクセスポイントの設定を確認してください。

> 参考 アクセスポイントのステルス機能（不正アクセス防止のために SSID を周囲に通知することを停止する機能）が有効になっているなど、プリンターから SSID を検出できない場合は、［その他の SSID］を選択して、SSID を入力してください。

4 **セキュリティーキーを入力し、【OK】を押します。**
セキュリティーキーは大文字と小文字を区別して入力してください。文字の入力方法は、プリンターのマニュアルをご覧ください。
セキュリティーキーがわからないときは、アクセスポイント（ブロードバンドルーターなど）のマニュアルをご覧になるか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

5 **設定内容を確認し、【OK】を押します。**

6 **ネットワーク診断レポートを印刷する場合は A4 普通紙をセットして［印刷］を、終了する場合は［終了］を選択し、【OK】を押します。**
診断レポートの見方とエラーメッセージの対処方法は、以下のページをご覧ください。
☞ 38 ページ「ネットワーク接続診断のエラー」

ネットワーク接続に成功すると、ホーム画面のアイコンが に変わります。

以上で終了です。

操作パネルでの設定が終了したら、次に印刷するコンピューターを設定してください。
☞ 16 ページ「印刷をするコンピューターの設定」

無線 LAN 設定 - プッシュボタン自動設定(AOSS/WPS) -

この方法で設定できるアクセスポイントの条件は以下です。

- AOSS に対応しているバッファロー製のアクセスポイントで、既に他の無線機器（子機）を【AOSS】ボタンを使って設定している
- WPS（Wi-Fi Protected Setup（TM））に対応しているアクセスポイントで、既に他の無線機器（子機）を【WPS】ボタンを使って設定している

【AOSS】ボタンや【WPS】ボタンの位置がわからない、アクセスポイントにプッシュボタンがない（ソフトウェアプッシュボタンで操作する）ときは、アクセスポイントのマニュアルで確認してから設定を始めてください。

インクジェット複合機の場合

1 **ホーム画面で を押します。**

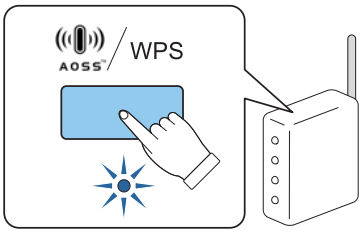
2 **ネットワーク概要表示画面で［無線 LAN 設定］を押します。**

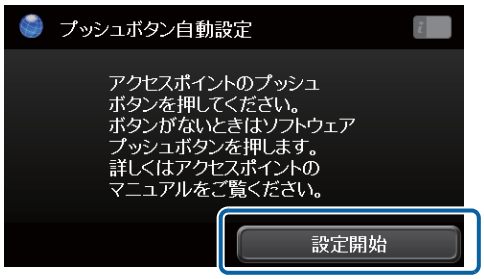
> 参考　プリンターに管理者設定がされ、パネルがロックされているときはパスワードを入力する画面になります。管理者のパスワードを入力してください。

3 **無線 LAN 設定画面で［プッシュボタン自動設定（AOSS/WPS)］を選択します。**

4 **以下の画面が表示されたら、アクセスポイントの【AOSS】ボタンまたは【WPS】ボタンを、セキュリティーランプが点滅するまで押します。次に操作パネルの［設定開始］を押します。**

【AOSS】ボタンや【WPS】ボタンがない（ソフトウェアプッシュボタンを使用)、またはボタンの位置がわからないときは、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。





> 参考　外部メモリーに関するメッセージが表示されたら、内容を確認し［はい］を選択します。

5 **設定が終了するまで、しばらくお待ちください。**

> 参考　接続できないときは、プリンターとアクセスポイントを近づけてから設定をやり直してください。それでも接続できないときは、最初からやり直してください。

ネットワーク接続に成功すると、ホーム画面のアイコンが に変わります。

以上で終了です。

操作パネルでの設定が終了したら、次に、印刷するコンピューターを設定してください。

☞ 16 ページ「印刷をするコンピューターの設定」

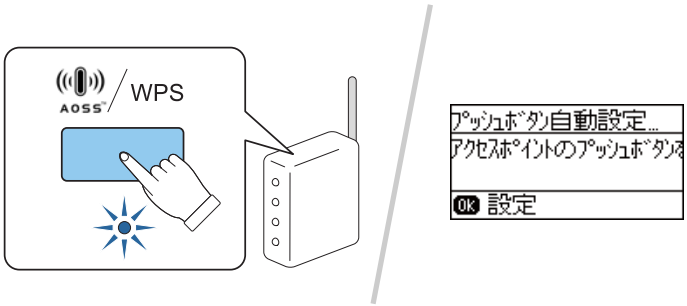
インクジェットプリンターの場合

1 **ホーム画面で［無線 LAN 設定］を選択します。**

2 **［プッシュボタン自動設定（AOSS/WPS）］を選択します。**

> 参考 プリンターに管理者設定がされ、パネルがロックされているときはパスワードを入力する画面になります。管理者のパスワードを入力してください。

3 **以下の画面が表示されたら、アクセスポイントの【AOSS】ボタンまたは【WPS】ボタンを、セキュリティーランプが点滅するまで押します。次に操作パネルの【OK】ボタンを押します。**



4 **設定が終了するまで、しばらくお待ちください。**

> 参考 接続できないときは、プリンターとアクセスポイントを近付けてから設定をやり直してください。それでも接続できないときは、最初からやり直してください。

ネットワーク接続に成功すると、ホーム画面のアイコンが に変わります。
以上で終了です。

操作パネルでの設定が終了したら、次に、印刷するコンピューターを設定してください。
☞ 16 ページ「印刷をするコンピューターの設定」

無線 LAN 設定 - PIN コード自動設定 -

WPS 機能の 1 つである PIN コード方式を使用して、無線 LAN を設定する手順を説明します。

WPS とは、無線 LAN の業界団体 Wi-Fi Alliance が定めた無線 LAN 設定方式で、プッシュボタン方式と PIN コード方式があります。PIN コード方式は、プリンターに割り振られていた 8 桁の数字をアクセスポイントまたはコンピューターに登録することで無線 LAN 設定ができます。

インクジェット複合機の場合

1 **ホーム画面で を押します。**

2 **ネットワーク概要表示画面で［無線 LAN 設定］を押します。**

> 参考 プリンターに管理者設定がされ、パネルがロックされているときはパスワードを入力する画面になります。管理者のパスワードを入力してください。

3 **無線 LAN 設定画面で［PIN コード自動設定（WPS）］を選択します。**

4 **PIN コード自動設定画面に表示された PIN コードをアクセスポイントかコンピューターに入力します。**
［設定開始］を押してから 2 分以内に登録してください。

> 参考　外部メモリーに関するメッセージが表示されたら、内容を確認し［はい］を選択します。

5 **設定が終了するまで、しばらくお待ちください。**

> 参考　接続できないときは、プリンターとアクセスポイントを近づけてから設定をやり直してください。それでも接続できないときは、最初からやり直してください。

ネットワーク接続に成功すると、ホーム画面のアイコンが に変わります。
以上で終了です。

操作パネルでの設定が終了したら、次に、印刷するコンピューターを設定してください。
☞ 16 ページ「印刷をするコンピューターの設定」

インクジェットプリンターの場合

1 **ホーム画面で［無線 LAN 設定］を選択します。**

2 **［PIN コード自動設定（WPS）］を選択します。**

> 参考　プリンターに管理者設定がされ、パネルがロックされているときはパスワードを入力する画面になります。管理者のパスワードを入力してください。

3 **プリンターの画面に表示された PIN コードをアクセスポイントかコンピューターに入力し、プリンターの【OK】を押します。**
【OK】を押してから 2 分以内に登録してください。

4 **設定が完了するまで、しばらくお待ちください。**
ネットワーク接続に成功すると、ホーム画面のアイコンが に変わります。

> 参考　接続できないときは、プリンターとアクセスポイントを近付けてから設定をやり直してください。それでも接続できないときは、最初からやり直してください。

以上で終了です。

操作パネルでの設定が終了したら、次に、印刷するコンピューターを設定してください。
☞ 16 ページ「印刷をするコンピューターの設定」

設定ソフトウェアで設定

ソフトウェアディスクには、以下の設定ソフトウェアが収録されています。

- EpsonNet Setup（インストーラー（InstallNavi.exe）の中に含まれます）
- EpsonNet Config

EpsonNet Setup

ウィザード形式で、ネットワーク設定ができるソフトウェアです。

Mac OS X では、<http://epson.sn/> から EpsonNet Setup をダウンロードしてください。Windows では付属のソフトウェアディスクを使ってインストーラーでネットワーク設定ができます。

次のネットワーク設定ができます。

- 無線 LAN 設定
  無線 LAN を設定します。インストーラーが接続するコンピューターの環境に応じた設定方法を表示します。画面の案内に従って操作を進めてください。以下の設定方法は、自分で選択できます。
  - プッシュボタン自動設定（AOSS/WPS）
    お使いのネットワークがアクセスポイントの【AOSS】または【WPS】ボタンを使って設定されているときは、この方法を選択してください。
  - 手動設定
    SSID（無線ネットワーク名）、セキュリティーキーをご自分でプリンターに入力してネットワーク設定をします。設定する前にネットワーク情報を確認してください。コンピューターから接続している無線 LAN 設定を取得できると、SSID、セキュリティーキーをコンピューターの画面上に表示できます。
- 有線 LAN 接続
  有線 LAN を設定します。

EpsonNet Config

プリンターに搭載のネットワークインターフェイスや使用するサーバーなどを設定するソフトウェアです（Windows 版と Mac OS X 版があります）。

☞ 57 ページ「EpsonNet Config （ソフトウェアディスク収録）」

> 参考 **Web Config について**
>
> EpsonNet Config（ネットワーク設定ソフトウェア）と同じような設定が Web ブラウザーからできます。
> ☞ 59 ページ「Web Config」

印刷をするコンピューターの設定

ネットワーク接続で印刷するには、プリンタードライバーのインストールとプリンターポートの設定が必要です。ここでは印刷プロトコル別にその手順を説明します。

Windows の場合

「印刷環境の確認」で選択した印刷方法に応じたセットアップをします。

EpsonNet Print（LPR）印刷	16 ページ「EpsonNet Print（LPR）で印刷」
標準 TCP/IP 印刷	19 ページ「標準 TCP/IP（LPR）で印刷」
WSD 印刷、Microsoft ネットワークプリンター共有で印刷	各 OS の説明書を参照してください。

EpsonNet Print(LPR)で印刷

EpsonNet Print ソフトウェアを使用して、プリンターに印刷データを直接送るための設定手順を説明します。

なお、付属のソフトウェアディスクからインストーラーを使って自動でネットワーク設定した場合は、「EpsonNet Print のインストール」と「プリンターポートの作成」が全て自動設定されます。

EpsonNet Print のインストール

管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

重要

EpsonNet Print は、旧印刷用ソフトウェア「EpsonNet Direct Print Version 1.0 または Version 2.x」がインストールされているコンピューターにはインストールできません。

- EpsonNet Direct Print Version 1.0 をご使用の場合は、EpsonNet Direct Print を削除してから EpsonNet Print をインストールしてください。
- EpsonNet Direct Print Version 2.x をご使用の場合は、EpsonNet Print のインストール中に警告メッセージが表示されますので、画面の指示に従って EpsonNet Direct Print Version 2.x を削除してください。

1 **付属のソフトウェアディスクをコンピューターにセットします。**

インストールメニューでは「必須ソフトウェアのインストールと接続設定」を選択し、画面の指示に従って操作します。

2 **［プリンター接続先の選択］画面が表示されたら［キャンセル］をクリックします。**

ここまででドライバーと EpsonNet Print がインストールされているので、インストーラーを終了させます。

以上で終了です。

次に、コンピューターのセットアップをします。

プリンターポートの作成

セットアップを始める前に、コンピューターに IP アドレスが設定されていることを確認してください。

また、プリンターに購入時（192.168.192.168）以外の IP アドレスが設定されていることも確認してください。プリンターの IP アドレスは、プリンターの操作パネルで確認できます。

☞ 35 ページ「ネットワーク情報の確認」

1 **［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］を開きます。**

Windows 8/Windows Server 2012:
デスクトップ画面の設定チャームから［コントロールパネル］-［デバイスとプリンターの表示］の順にクリック

Windows Vista/Windows Server 2008:
［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリック

Windows XP/Windows Server 2003:
［スタート］-［プリンタと FAX］の順にクリック

2 **［プリンターの追加］をクリックします。**

Windows 8/Windows Server 2012:
デスクトップ画面の設定チャームから［コントロールパネル］-［デバイスとプリンターの表示］の順にクリック

Windows Server 2008 R2:
［プリンターの追加］-［管理者としてローカルプリンターまたはネットワークプリンターを追加する］の順にクリック

Windows Vista/Windows Server 2008:
［プリンタのインストール］をクリック

Windows XP:
［プリンタのインストール］-［次へ］の順にクリック

Windows Server 2003:
［プリンタの追加］をダブルクリックして、［次へ］をクリック

3 **［ローカルプリンターを追加します］をクリックします。**

Windows 8/Windows Server 2012:
［探しているプリンターはこの一覧にはありません］をクリック
［ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動で追加する］を選択して［次へ］をクリック

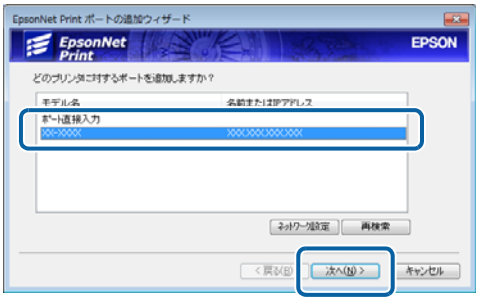
Windows XP/Windows Server 2003:
［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択します。［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリック

4 **［新しいポートの作成］を選択します。［EpsonNet Print Port］を選択して、［次へ］をクリックします。**

ご使用の Windows によって［Windows セキュリティの重要な警告］画面が表示されます。［ブロックを解除する］をクリックしてください。

5 **ご使用のプリンターを選択して、[次へ] をクリックします。**

ご使用のプリンターが表示されないときは、電源が入っているか確認して [再検索] をクリックするか、[ポート直接入力] をクリックして IP アドレスを指定してください。

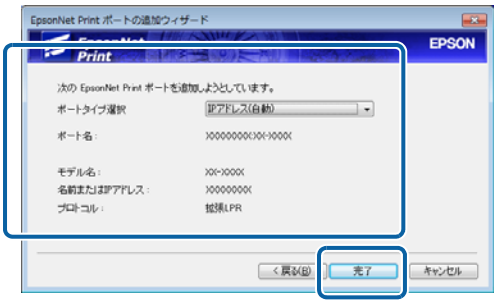


> **参考**
> - 別セグメントのプリンターを指定するときは、[ネットワーク設定] をクリックして設定してください。
> - [ネットワーク設定] をクリックして設定を変更したときやポートの追加中にプリンターの電源を入れたときは、[再検索] をクリックしてください。
> - 手順 4 で表示された [Windows セキュリティの重要な警告] 画面で [ブロックする] を選択したときは、コンピューターと同じセグメントにあるネットワークアドレスのプリンターのみ表示されます。異なるネットワークアドレスのプリンターを表示するときは、[コントロールパネル] の [Windows ファイアウォール] で設定を変更してください。

6 **画面の内容を確認して、[完了] をクリックします。**

[ポートタイプ選択] でポートタイプを選択できます。通常、変更する必要はありません。

各項目の説明は、下表をご覧ください。



項目名	内容	
ポートタイプ選択	作成するポートのタイプを選択できます。	
	IP アドレス（自動）	使用するコンピューターとプリンターが同一セグメント内にあり、プリンターの [IP アドレスの設定方法] が [自動] になっているときに選択します。 プリンターの IP アドレスが変更されても、ポートと IP アドレスが自動的に関連付けられるため、IP アドレスが変わるたびに使用するコンピューターのポート名を変更する必要がありません。
	IP アドレス（固定）	プリンターの [IP アドレスの設定方法] が [固定] になっているときに選択します。DHCP サーバーなどによって各アドレスを自動で取得しているときは、選択しないでください。
ポート名	[ポートタイプ選択] リストで選択した項目によって、以下のように表示されます。 • [IP アドレス（自動）]：EP+MAC アドレス下 6 桁：プリンター名 • [IP アドレス（固定）]：IP アドレス：プリンター名	
モデル名	プリンター名が表示されます。	
名前または IP アドレス	[ポートタイプ選択] リストで選択した項目によって、以下のように表示されます。 • [IP アドレス（自動）]：EP+MAC アドレス下 6 桁 • [IP アドレス（固定）]：IP アドレス	
プロトコル	使用プロトコル（拡張 LPR）が表示されます。	

7 **[製造元] と [プリンター] を選択し、[次へ] をクリックします。**

この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

以上で終了です。

標準 TCP/IP(LPR)で印刷

標準 TCP/IP 印刷（Standard TCP/IP）の設定手順を説明します。

1 **［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］を開きます。**

Windows 8/Windows Server 2012:
デスクトップ画面の［設定］チャームから［コントロールパネル］-［デバイスとプリンターの表示］の順にクリック

Windows Vista/Windows Server 2008:
［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリック

Windows XP/Windows Server 2003:
［スタート］-［プリンタと FAX］の順にクリック

2 **［プリンターの追加］をクリックします。**

Windows Server 2008 R2:
［プリンターの追加］-［管理者としてローカルプリンターまたはネットワークプリンターを追加する］の順にクリック

Windows Vista/Windows Server 2008:
［プリンタのインストール］をクリック

Windows XP:
［プリンタのインストール］-［次へ］の順にクリック

Windows Server 2003:
［プリンタの追加］をダブルクリックして、［次へ］をクリック

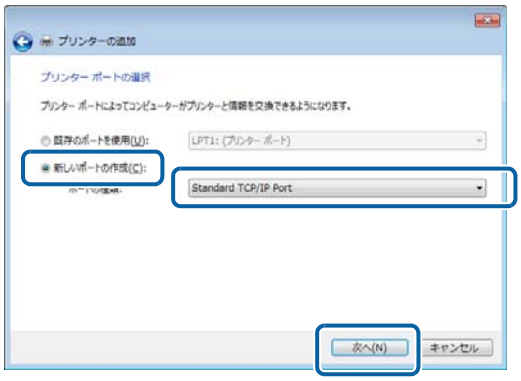
3 **［ローカルプリンターを追加します］をクリックします。**

Windows 8/Windows Server 2012:
［探しているプリンターはこの一覧にはありません］をクリック
［ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動で追加する］を選択して［次へ］をクリック

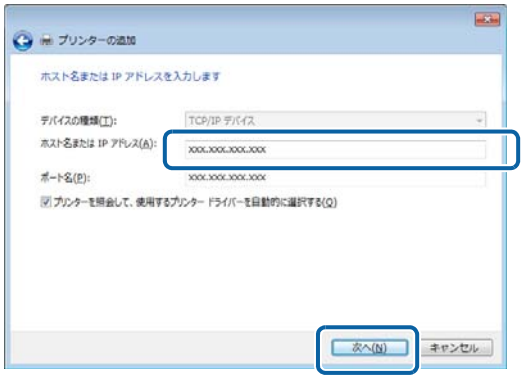
Windows XP/Windows Server 2003:
［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択します。［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリック

4 **［新しいポートの作成］を選択します。［Standard TCP/IP Port］を選択して、［次へ］をクリックします。**

Windows XP/Windows Server 2003:
［新しいポートの作成］-［Standard TCP/IP Port］を選択して［次へ］をクリックし、［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が表示されたら、［次へ］をクリック



5 **［ホスト名または IP アドレス］項目にネットワークインターフェイスの IP アドレスを入力して、［次へ］をクリックします。**



Windows XP/Windows Server 2003:
［プリンタ名または IP アドレス］項目にネットワークインターフェイスのIPアドレスを入力して［次へ］クリック
［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了］画面が表示されたら［完了］をクリック

6 **［ディスク使用］をクリックして、付属のソフトウェアディスクをコンピューターにセットします。**

7 **CD/DVD ドライブ名とフォルダー名を選択または半角文字で入力後、画面の指示に従って設定を終了します。**
CD/DVD ドライブまたは以下のフォルダーを選択してください。

OS 環境	選択するフォルダー
32bit 版 Windows	￥Driver￥Printer￥Driver￥WINX86
64bit 版 Windows	￥Driver￥Printer￥Driver￥WINX64

参考 PostScript 対応機種で PostScript プリンタードライバーを使う場合、以下を選択してください。
￥Driver￥PostScript￥eppsnt.inf

Windows XP/Windows Server 2003 をご使用の場合:
以上で終了です。

Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2012/Windows Server 2008をご使用の場合:
引き続きポート構成を確認します。

ポート構成の確認

Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2012/Windows Server 2008 で標準 TCP/IP ポートを使用してネットワーク印刷をするときは、以下の設定になっていることを確認してください。この設定がされていないと正しく印刷できないことがあります。

1 **［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］を開きます。**

Windows 8/Windows Server 2012:
デスクトップ画面で［設定］チャームから［コントロールパネル］-［デバイスとプリンターの表示］の順にクリック

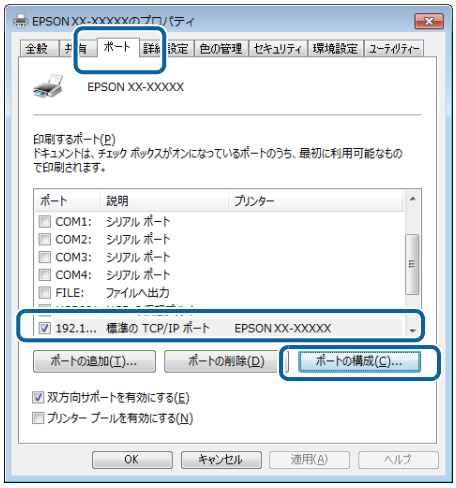
Windows Vista/Windows Server 2008:
［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリック

2 **対象プリンターのアイコンを右クリックして、［プリンターのプロパティ］をクリックします。**

Windows Vista:
対象プリンターのアイコンを右クリックして、［管理者として実行］-［プロパティ］の順にクリック

Windows Server 2008:
対象プリンターのアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリック

3 **[ポート] タブをクリックし、[標準の TCP/IP ポート] を選択して、[ポートの構成] をクリックします。**

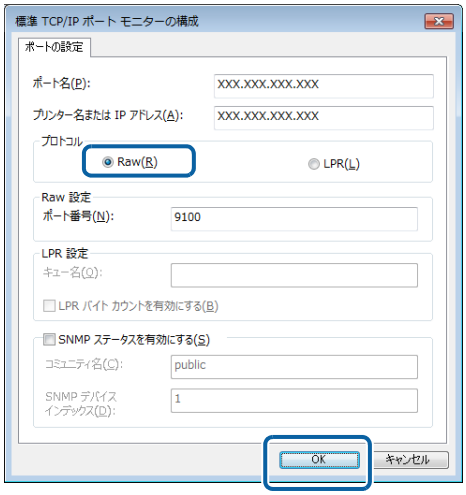


4 **ポートの設定が以下のどちらかになっていることを確認します。**

RAW の場合

［プロトコル］で［RAW］が選択されていることを確認

RAW の場合

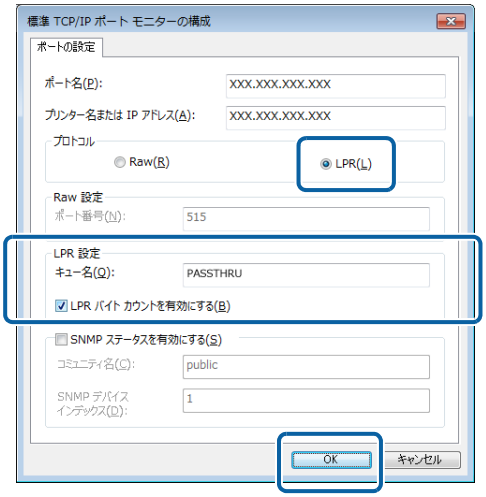


LPR の場合

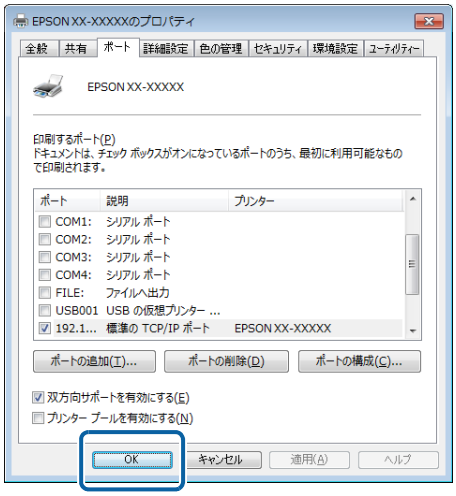
［プロトコル］で［LPR］が選択され、［LPR 設定］の［LPR バイトカウントを有効にする］にチェックが付いていることを確認

［キュー名］に「PASSTHRU」と入力

LPR の場合



5 **［OK］をクリックします。**



以上で終了です。

Mac OS X の場合

以下をご覧になり、プリンタードライバーのインストールとプリンターの追加を行ってください。
<http://epson.sn>

Wi-Fi Direct での接続設定

本製品は、アクセスポイントを使わずに無線機器同士を接続する Wi-Fi Direct 接続に対応しています。

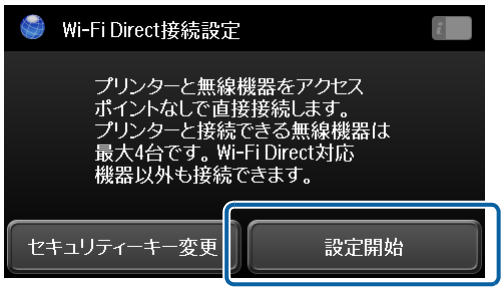
重要
- Wi-Fi Direct のセキュリティーモードは「WPA2-PSK（AES）」のみ、オペレーションモードは「IEEE802.11 g」のみです。
- 旧 OS から新しい OS にバージョンアップしたコンピューターでは接続できない場合があります。

プリンターに無線 LAN（インフラストラクチャーまたはアドホック）設定がされていない状態のときに Wi-Fi Direct 接続設定を行うと、「シンプル AP モード」で接続されます。

重要 シンプル AP モードは 4 台までの無線機器（子機）を接続できます。ただし、接続している子機間の通信はサポートしていません。

インクジェット複合機の場合

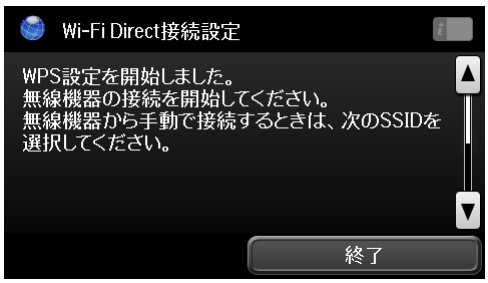
1. ホーム画面で を押します。
2. ネットワーク概要表示画面で［メニュー］を押します。
3. ［Wi-Fi Direct 設定］-［接続設定］を選択します。
4. ［設定開始］を押します。



参考 **セキュリティーキーを変更する場合**

［セキュリティーキー変更］を押して、設定したいセキュリティーキーを 8 ～ 22 文字以内で入力してください。シンプル AP モードのセキュリティーキーを変更すると、プリンターに接続中の機器の Wi-Fi 接続が切断されます。

5 **接続する機器が WPS に対応している場合は、機器からの接続を開始します。手動で設定する場合は表示される SSID とセキュリティーキーをメモし、［終了］を押します。**
画面をスクロールして最後まで確認してください。



以上で、プリンターのネットワーク設定が終了しました。手動で接続をする場合は接続する機器（コンピューターなど）から接続してください。
☞ 25 ページ「機器からの接続」

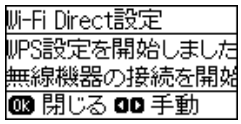
インクジェットプリンターの場合

1 **ホーム画面で［無線 LAN 設定］を選択します。**
モードの選択画面になっていないときは、【戻る】で表示させてください。

2 **［Wi-Fi Direct 設定］-［接続設定］を選択します。**

3 **「無線機器をアクセスポイントなしで 4 台まで直接接続できます。」というメッセージを確認し、［設定開始］を選択して【OK】を押します。**

4 **接続する機器が WPS に対応している場合は機器からの接続を開始し【OK】を押します。手動で設定する場合は、【▶】を押した後次の画面で【OK】を押します。**



WPS で接続した場合は、プリンターと機器との接続は終了です。

5 **表示される SSID とセキュリティーキーをメモし、【OK】を押します。**

以上でプリンターのネットワーク設定が終了しました。次に接続する機器（コンピューターなど）から接続してください。
☞ 25 ページ「機器からの接続」

機器からの接続

シンプル AP モードの SSID、セキュリティーキーを使って、機器からの接続を開始します。
機器からの接続手順は OS によって異なります。詳しくは、OS のヘルプや機器のマニュアルをご覧ください。

Windows の場合

Windows の Wi-Fi Direct 機能からの接続には対応していません。ここでは、Windows 7 での接続を例に説明します。
タスクバーのネットワーク接続アイコンをクリックし、手順 5 でメモした「DIRECT-XXXXXXXX」を選択します。

セキュリティーキーの入力を求める画面が表示されたら、手順 5 でメモしたセキュリティーキーを入力して接続します。

この後は、「2 台目以降のコンピューターを追加接続」の手順に沿ってプリンタードライバーなどのインストールと接続設定を
行ってください。
☞ 34 ページ「2 台目以降のコンピューターを追加接続」

以上で終了です。

Mac OS X の場合

Wi-Fi の状況アイコンをクリックして、手順 5 でメモした「DIRECT-XXXXXXXX」を選択します。

セキュリティーキーの入力を求める画面が表示されたら、手順 5 でメモしたセキュリティーキーを入力して続けます。

この後は、「2 台目以降のコンピューターを追加接続」の手順に沿ってプリンタードライバーなどのインストールと接続設定を行ってください。
☞ 34 ページ「2 台目以降のコンピューターを追加接続」

以上で終了です。

スマートフォンからの接続方法

手動で接続する場合

接続するスマートフォンから Wi-Fi ネットワーク設定をします。スマートフォンからは、Wi-Fi を接続する手順を行ってください。詳しい接続手順は、お使いのスマートフォンのマニュアルでご確認ください。以下は、iPhone からの接続例を紹介します。

1 **Wi-Fi 接続画面から手順 5 でメモした「DIRECT-XXXXXXXX」を選択してください。**
「DIRECT-」から始まるネットワーク名がシンプル AP モードの名前です。

2 **手順 5 でメモしたセキュリティーキーを入力し、接続します。**

以上でスマートフォンの接続設定は終了です。

スマートフォンが WPS に対応している場合

スマートフォンがWPS に対応している場合は、Wi-Fi 設定にWPS 接続用のボタンが表示されます。該当のボタンを押すだけでプリンターと相互に通信して接続設定ができます。

スマートフォンからは、ネットワークプリンターとして検索できるようになります。

スマートフォンから印刷するときは、最新の「Epson iPrint」をインストールしてご利用ください。
☞ 60 ページ「Android/iOS 向けアプリ」

切断方法

接続している機器の Wi-Fi をオフにするか他のネットワークに接続してください。
なお、プリンターからも切断できます。

インクジェット複合機の場合

1 **ホーム画面で** **を押します。**

2 **ネットワーク概要表示画面で［メニュー］を押します。**

3 **［Wi-Fi Direct 設定］-［接続切断］を選択します。**

以上で終了です。

インクジェットプリンターの場合

1 **ホーム画面で［無線 LAN 設定］を選択します。**

2 **［Wi-Fi Direct 設定］-［接続切断］を選択します。**

以上で終了です。

シンプル AP モードではプリンターに 4 台まで無線機器を接続できます。プリンターに接続されている機器数は、プリンターから「ネットワーク接続診断」を行い、ネットワーク接続診断レポートを印刷すると確認できます。
☞ 37 ページ「ネットワーク接続診断」

既にプリンターに 4 台の無線機器が接続されているときにプリンターに接続しようとすると、プリンターには接続エラーが表示されます。このような場合は、プリンターを使用していない機器側で Wi-Fi 接続を切断（他のネットワークへ接続、または Wi-Fi をオフ）します。これにより、新たな機器を接続できるようになります。

> 参考 Wi-Fi Direct（シンプル AP モード）接続中に Wi-Fi 接続が切断された場合は、以下をご覧ください。
> ☞ 47 ページ「突然 Wi-Fi 接続が切断された」

シンプル AP モードの確認方法

プリンターがシンプル AP モードになっているときは、ホーム画面の接続アイコンが変わります。アイコンのデザインは、機種によって異なります。

画面例

アドホックモードでの接続設定

アクセスポイントを介さずに直接通信するアドホックモードで接続するには、コンピューターのアドホックネットワーク設定と、プリンターとコンピューターの接続設定が必要です。

!重要

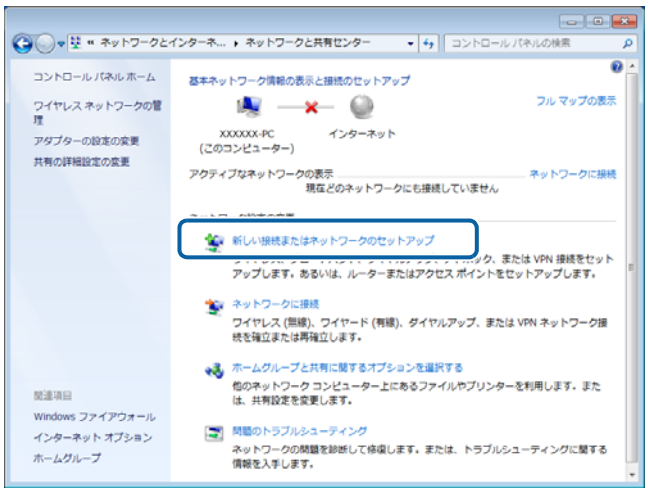
- コンピューターがインフラストラクチャーモードで接続されていたら、インフラストラクチャーモードでの使用をお勧めします。
- コンピューターの無線 LAN アダプターがアドホックモードに対応している必要があります。
- IP アドレスは自動で取得することをお勧めします。自動にすると、コンピューターやプリンター側で相互通信可能な IP アドレスが付与されるため、設定する必要がありません。
- アドホックモードでは強固なセキュリティーは設定できません。対応しているセキュリティーモードは WEP のみです。
- Windows 8 は、アドホックモードに対応していません。

コンピューターのアドホックネットワーク設定

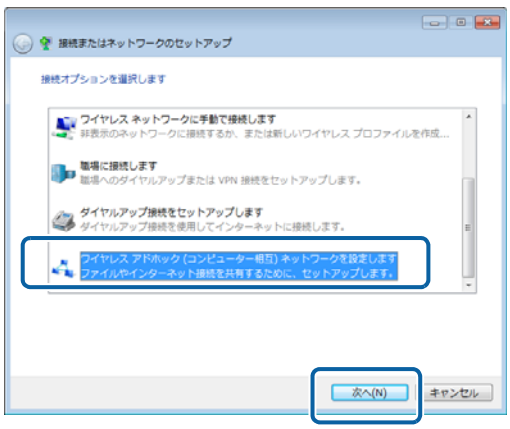
アドホックモードでネットワーク接続できるようにコンピューターの設定をしてください。ここでは、Windows 7 での設定方法を例に説明します。各 OS での設定手順は、コンピューターまたは OS の説明書などを参照してください。

1 **Windows の［ネットワーク設定］画面を表示させます。**
［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワークとインターネット］の［ネットワークの状態とタスクの表示］の順にクリックしてください。

2 **［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックします。**

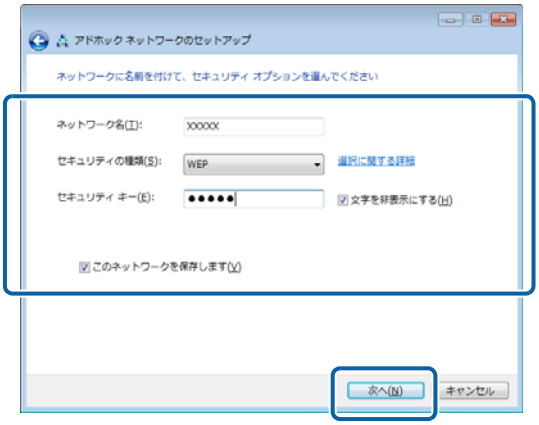


3 **［ワイヤレス アドホック（コンピューター相互）ネットワークを設定します］を選択して、［次へ］をクリックします。**



4 **アドホックネットワークのセットアップ画面で［次へ］をクリックします。**

5 **アドホックネットワークのセットアップ情報を入力して、［次へ］をクリックします。**



項目名	内容
ネットワーク名	アドホックのネットワーク名（SSID）を入力します。 ここで付けたネットワーク名がプリンター側で検索されます。
セキュリティの種類	WEP を選択します。
セキュリティキー	セキュリティキーを入力します。 ここで指定したセキュリティキーをプリンター側に入力してください。
このネットワークを保存します	チェックを付けます。

6 **アドホックネットワークのセットアップ画面で［閉じる］をクリックします。**

参考 上記の設定終了後、コンピューターの IP アドレスが自動的に取得する設定になっているかをご確認ください。
☞ 31 ページ「IP アドレス自動取得設定の確認（Windows）」

以上で終了です。

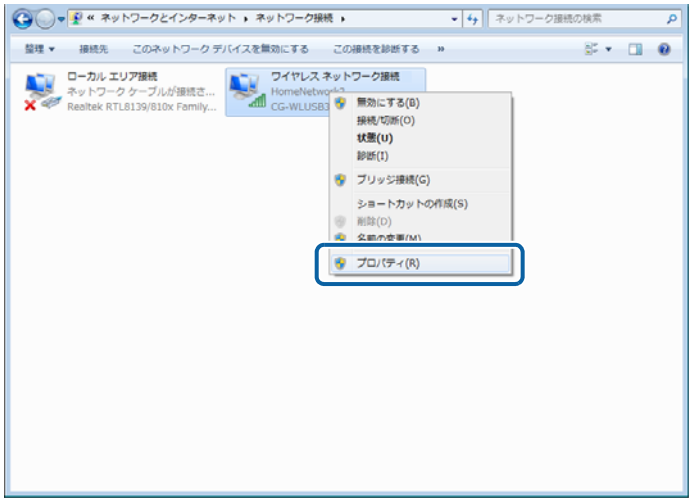
IP アドレス自動取得設定の確認（Windows）

コンピューターの IP アドレスが自動的に取得する設定になっているかを確認する手順を説明します。

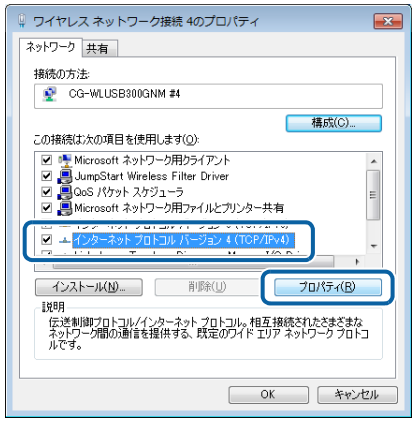
1 **Windows の［ネットワーク設定］画面を表示させます。**
［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワークとインターネット］の［ネットワークの状態とタスクの表示］の順にクリック

2 **［アダプターの設定変更］をクリックします。**

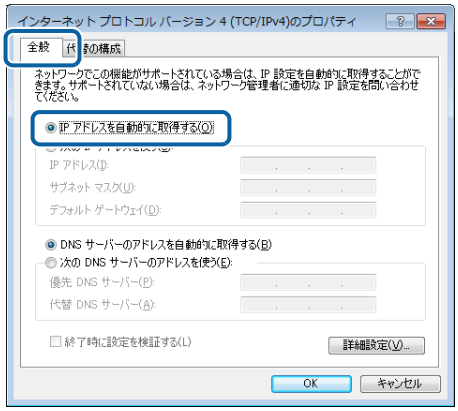
3 **［ワイヤレスネットワーク接続］を右クリックして、［プロパティ］をクリックします。**



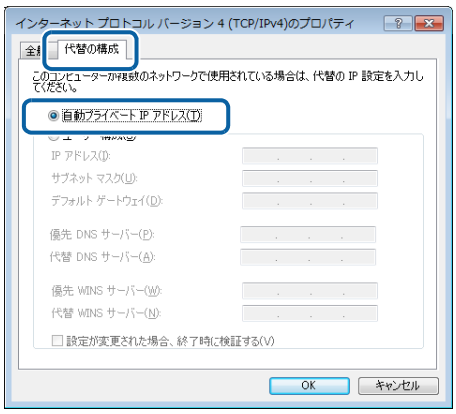
4 **［インターネットプロトコルバージョン 4（TCP/IPv4）］を選択して、［プロパティ］をクリックします。**



5 [全般] タブの [IP アドレスを自動的に取得する] が選択されていることを確認します。



6 [代替の構成] タブをクリックし、[自動プライベート IP アドレス] が選択されていることを確認します。



7 [OK]をクリックし、[インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)のプロパティ]画面を閉じます。

8 [閉じる] をクリックし、[ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ] 画面を閉じます。

以上で終了です。

プリンターとコンピューターの設定

コンピューターの設定が終わったら、プリンターとコンピューターの接続設定をします。

Windows の場合は付属のソフトウェアディスクを使って無線 LAN を設定します。アドホック設定を行ったコンピューターに付属のソフトウェアディスクをセットしてください。接続先の設定画面では「無線 LAN 接続」を選択し、後は画面に表示される案内通りに操作してください。

Mac OS X の場合は以下を参照して「プリンターの追加手順」を行ってください。
<http://epson.sn>

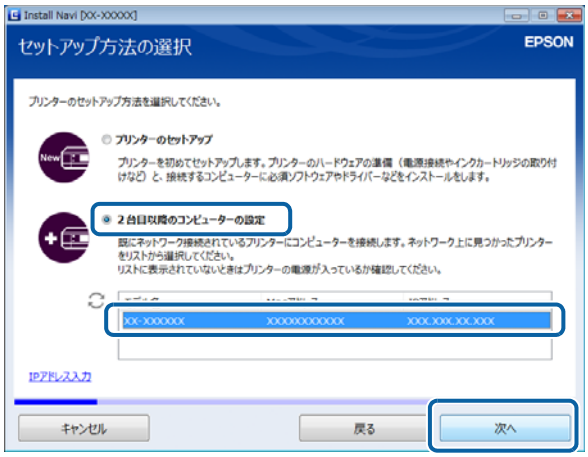
2 台目以降のコンピューターを追加接続

プリンターのネットワーク設定に使ったコンピューターとは別のコンピューター（2 台目以降）でネットワークプリンターを使えるようにします。

Windows の場合

1 **接続するコンピューターに、付属のソフトウェアディスクをセットします。**
インストールメニューでは「必須ソフトウェアのインストールと接続設定」を選択し、画面の指示に従って操作します。

2 **以下の画面では［2 台目以降のコンピューターの設定］を選択し、リストから追加したいプリンターを選択して［次へ］をクリックします。**



後は、画面に表示される指示に従って操作してください。

Mac OS X の場合

OS へのプリンターの追加手順でネットワークプリンターを追加してください。
＜ http://epson.sn ＞

ネットワーク接続の確認

ネットワーク接続の状態を確認する手順を説明します。

ネットワーク情報の確認

ネットワークアイコン

ホーム画面のネットワークアイコンでネットワークの接続状態が確認できます。

アイコン	状態
	有線 LAN 接続中
	無線 LAN（インフラストラクチャーモード）接続中 電波強度によりアイコンの形状が変わります。
	Wi-Fi Direct（シンプル AP モード）接続中
	有線 LAN と Wi-Fi Direct（シンプル AP モード）の同時接続中
	Wi-Fi Direct（Wi-Fi Direct モード）接続中
	アドホック接続中
	ネットワーク未設定

ネットワーク情報確認

プリンターの操作パネルで、ネットワークの設定と接続状態が確認できます。
また、ステータスシートを印刷すると、ネットワーク診断レポートやパネルでは表示されない詳細なネットワーク情報が確認できます。

インクジェット複合機の場合

1 **ホーム画面で を押します。**

2 **ネットワーク概要表示画面で［メニュー］を押します。**

> 参考 プリンターに管理者設定がされ、パネルがロックされているときはパスワードを入力する画面になります。管理者のパスワードを入力してください。

3 **［ネットワーク設定］-［ネットワーク情報確認］を選択します。**
ネットワークステータスシートを印刷するには［印刷］を、終了するには［確認］を選択します。

参考
ホーム画面から［セットアップ］-［ネットワーク情報］を選択すると以下の情報を確認できます。
- ネットワーク情報確認
- Wi-Fi Direct 接続確認
- メールサーバー設定確認
- Epson Connect 情報確認
- Google クラウド プリント情報確認

それぞれの情報確認画面のガイドに案内がある場合は、ステータスシートの印刷ができます。

以上で終了です。

インクジェットプリンターの場合

1 **ホーム画面で［メニュー］を選択します。**

2 **［ネットワーク情報］-［ネットワーク情報確認］を選択します。**
【▲】【▼】ボタンで表示する情報を切り替えます。
ネットワークステータスシートを印刷したい場合は【OK】ボタンを押してください。

参考
ホーム画面から［メニュー］-［ネットワーク情報］を選択すると以下の情報を確認できます。
- ネットワーク情報確認
- Wi-Fi Direct 接続確認
- Epson Connect 情報確認
- Google クラウド プリント情報確認

以上で終了です。

ソフトウェアから確認

Web Config および EpsonNet Config からもネットワークの接続状態を確認できます。
☞ 57 ページ「設定ソフトウェア」

以上で終了です。

ネットワーク接続診断

プリンターの操作パネルには、ネットワーク接続を診断する機能があります。プリンターをネットワークに接続できないときは、ネットワーク接続診断機能をお試しください。

インクジェット複合機の場合

1 **ホーム画面で を押します。**

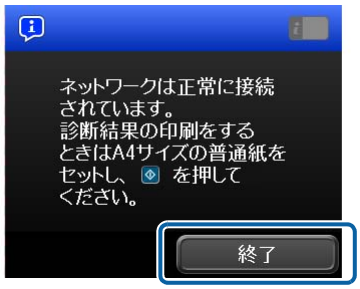
2 **ネットワーク概要表示画面で［メニュー］を押します。**

3 **［ネットワーク設定］を選択します。**

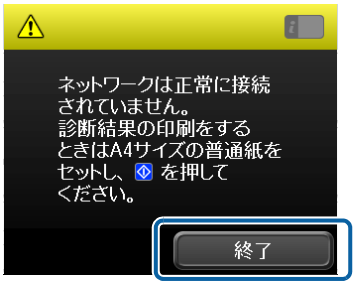
> 参考 プリンターに管理者設定がされ、パネルがロックされているときはパスワードを入力する画面になります。管理者のパスワードを入力してください。

4 **［ネットワーク接続診断］を選択します。**

5 **診断結果が表示されます。**
右の画面のように「ネットワークは正常に接続されています。」と表示されれば、接続に問題はありません。［終了］を選択してください。



右の画面のように表示されたら、ネットワークは正常に接続されていません。A4 サイズの普通紙がセットされていることを確認し、診断レポートを印刷して診断結果の詳細を確認してください。
印刷しない場合または、終了する場合は［終了］を押してください。



6 **印刷された診断レポートを確認します。**
診断レポートの見方とエラーメッセージの対処方法は、以下のページをご覧ください。
☞ 38 ページ「ネットワーク接続診断のエラー」

以上で終了です。

インクジェットプリンターの場合

1 **ホーム画面で［メニュー］を選択します。**

2 **［システム管理設定］を選択します。**

> 参考 プリンターに管理者設定がされ、パネルがロックされているときはパスワードを入力する画面になります。管理者のパスワードを入力してください。

3 **［ネットワーク設定］-［ネットワーク接続診断］を選択します。**
ネットワーク接続診断が実施され、結果が表示されます。診断レポートを印刷したい場合は【▲】【▼】ボタンで［印刷］を選択して【OK】を押します。終了する場合は［終了］を選択して【OK】を押します。

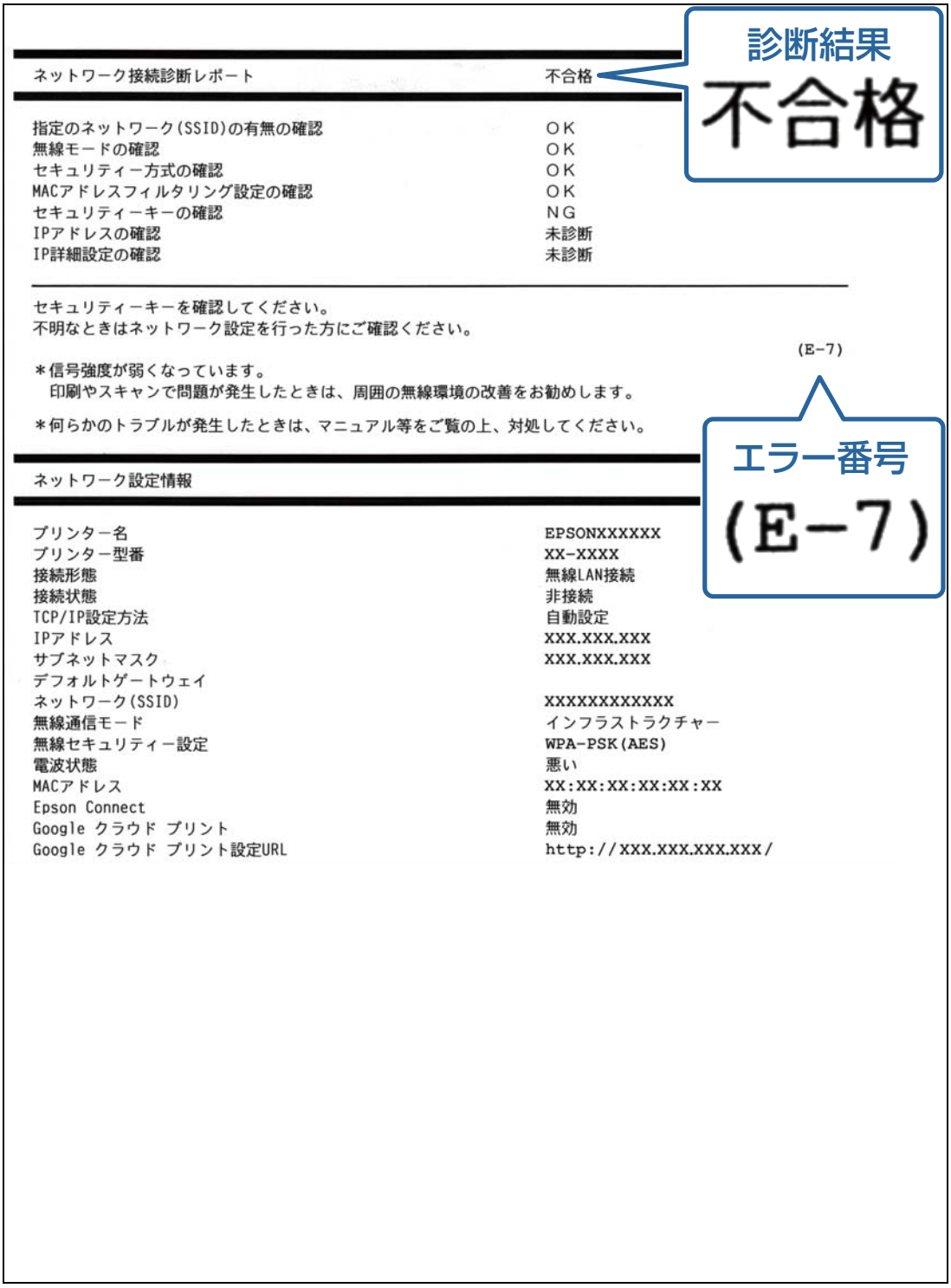
以上で終了です。

設定 / 印刷で困ったときは

困ったときの対処方法を説明します。

ネットワーク接続診断のエラー

印刷した診断レポートに表示されているエラー番号を確認し、番号に応じた対処を行ってください。



ネットワーク接続診断レポート　不合格

指定のネットワーク(SSID)の有無の確認	OK
無線モードの確認	OK
セキュリティー方式の確認	OK
MACアドレスフィルタリング設定の確認	OK
セキュリティーキーの確認	NG
IPアドレスの確認	未診断
IP詳細設定の確認	未診断

セキュリティーキーを確認してください。
不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。

(E-7)

＊信号強度が弱くなっています。
　印刷やスキャンで問題が発生したときは、周囲の無線環境の改善をお勧めします。

＊何らかのトラブルが発生したときは、マニュアル等をご覧の上、対処してください。

ネットワーク設定情報

プリンター名	EPSONXXXXXX
プリンター型番	XX-XXXX
接続形態	無線LAN接続
接続状態	非接続
TCP/IP設定方法	自動設定
IPアドレス	XXX.XXX.XXX
サブネットマスク	XXX.XXX.XXX
デフォルトゲートウェイ	
ネットワーク(SSID)	XXXXXXXXXXX
無線通信モード	インフラストラクチャー
無線セキュリティー設定	WPA-PSK(AES)
電波状態	悪い
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
Epson Connect	無効
Google クラウド プリント	無効
Google クラウド プリント設定URL	http://XXX.XXX.XXX.XXX/

エラー番号	対処方法
E-1	以下を確認してください。 • LAN ケーブルがプリンター、ハブ（Hub）などネットワーク機器と正しく接続されているか • ハブ（Hub）などのネットワーク機器の電源が入っているか
E-2	• アクセスポイントの電源が入っていないときは、電源を入れてから再度プリンターのネットワーク設定をしてください。 • プリンターとアクセスポイントは近くに置いて設定してください。 ネットワーク（SSID）を直接入力したときは、入力したネットワーク（SSID）が正しいかを確認して、再度入力してください。「ネットワーク（SSID）」は、印刷した「ネットワーク設定情報 / 接続診断レポート」の「ネットワーク設定情報」-「ネットワーク（SSID）」に表示されています。 • プッシュボタン自動設定（AOSS/WPS）で設定するときは、アクセスポイントが AOSS/WPS に対応しているか確認してください。AOSS/WPS に対応していないときはプッシュボタン自動設定はできません。 • アドホック接続するときは、始めにコンピューターのアドホック設定を行い、接続を開始している状態で再度プリンターのネットワーク設定をしてください。
E-3	• アドホック接続時は、接続するコンピューターの電源が入っているかを確認してください。入っていないときは、電源を入れてから再度プリンターのネットワーク設定をしてください。 • プリンターと接続するコンピューターは近くに置いて設定してください。
E-4	アクセスポイントに設定されている無線規格がプリンターの対応する無線規格と一致しているかを確認してください。一致していないときは、アクセスポイントの無線規格をプリンターの対応する無線規格と合わせてください。詳しくはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
E-5	アクセスポイントが以下のいずれかのセキュリティー方式になっているかを確認してください。なっていなければ、以下のセキュリティー方式を使用するようアクセスポイントの設定を変更して、再度プリンターのネットワーク設定をしてください。 • WEP-64bit（40bit） • WEP-128bit（104bit） • WPA PSK[*1]（TKIP） • WPA2 PSK[*2]（TKIP） • WPA PSK[*1]（AES） • WPA2 PSK[*2]（AES） • WPA（TKIP/AES） • WPA2（TKIP/AES） [*1] WPA Personal とも呼ばれます。 [*2] WPA2 Personal とも呼ばれます。
E-6	• アクセスポイントのマニュアルを参照して、MAC アドレスフィルタリング機能を確認してください。フィルタリング機能が「有効」のときは、プリンターの MAC アドレスを登録し、プリンターがフィルタリングされないように設定してください。プリンターの MAC アドレスは、ステータスシートで確認してください。 ☞ 35 ページ「ネットワーク情報の確認」 • アクセスポイントの WEP セキュリティー方式で Shared 認証が「有効」のときは、認証キーおよびインデックスが正しいことを確認してください。
E-7	• アクセスポイントに設定されているセキュリティーキーと入力したセキュリティーキーが一致しません。大文字、小文字を含めて正しいセキュリティーキーで再度設定してください。 • 無線 LAN 接続で突然接続できなくなったときは、以下を確認してください。 •今お使いのネットワーク環境に、新たに別の無線機器を AOSS で設定したか •お使いのアクセスポイントが、株式会社バッファロー製のプッシュボタンで設定（AOSS）ができるタイプか •ソフトウェアディスクから「プッシュボタン自動設定（AOSS/WPS）」以外の方法で無線 LAN 設定をしたか 上記が当てはまるときは、ソフトウェアディスクを使ってネットワーク設定をやり直してください。
E-8	• プリンターの TCP/IP 設定を「自動設定」にしているときは、アクセスポイントの DHCP 機能を確認し、無効になっているときは有効に変更してください。 • プリンターの TCP/IP 設定を「手動設定」にしているときは、手動で設定した IP アドレスが有効範囲外（0.0.0.0 など）のため、無効になっています。再度有効な IP アドレスを入力してください。

エラー番号	対処方法
E-9	1. 以下を確認してください。 •コンピューターなどプリンターを利用する機器の電源が入っているか •コンピューターなどプリンターを利用する機器から、インターネットへのアクセスや同じネットワーク上の他のコンピューター、ネットワーク機器にアクセスできるか 2. 1. が問題ないときは、ソフトウェアディスクを使ってネットワーク設定を最初からやり直してください。
E-10	1. 以下を確認してください。 •ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか •プリンターの TCP/IP 設定を「手動設定」にしているときはネットワークアドレス（IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか 2. ネットワークアドレスに問題があったときは、正しいアドレスに変更してください。 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、操作パネル（液晶ディスプレイ搭載機種のみ）またはステータスシートで確認してください。 ☞ 35 ページ「ネットワーク情報の確認」
E-11	1. 以下を確認してください。 •プリンターの TCP/IP 設定を「手動設定」にしたときは、プリンターに手動で設定したデフォルトゲートウェイのアドレスが正しいか •デフォルトゲートウェイに指定した機器の電源が入っているか 2. デフォルトゲートウェイに問題があったときは、正しいアドレスに変更してください。 デフォルトゲートウェイは、ステータスシートで確認してください。 ☞ 35 ページ「ネットワーク情報の確認」
E-12	1. 以下を確認してください。 •ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか •プリンターの TCP/IP 設定を「手動設定」にしたときは、プリンターに手動で設定したネットワークアドレス（IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか •他の機器のネットワークアドレス（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が同一になっているか •他の機器の IP アドレスと重複していないか 2. 1. が正しいとき、以下を行ってください。 •プリンターと同じネットワーク上のコンピューターで、ソフトウェアディスクを使ってネットワーク設定をします。 EpsonNet Setup の［プリンターの選択］画面に対象のプリンターが表示されたときはそのまま進み、［TCP/IP の設定］画面でプリンターの IP アドレスをネットワーク環境に合わせて設定してください。 対象プリンターが検索できないときは、セキュリティーキーが間違っている可能性があります。正しいセキュリティーキーを設定してください。 •セキュリティータイプ「WEP」は、アクセスポイントに複数のセキュリティーキーを登録することができます。複数のキーが登録されているときは、最初（1 番目）のインデックスのセキュリティーキーがプリンターに設定されているかを確認してください。
E-13	1. 以下を確認してください。 •ネットワーク機器（モデム、ハブ、ルーターなど）の電源が入っているか •プリンター以外のネットワーク機器が手動で TCP/IP 設定されていないか（他のネットワーク機器の TCP/IP 設定が手動で、プリンターの TCP/IP 設定のみ「自動設定」となっているときは、プリンターだけ異なるネットワークになる可能性があります。） 2. 1. が正しいとき、以下を行ってください。 •プリンターと同じネットワーク上のコンピューターでソフトウェアディスクを使ってネットワーク設定をします。 EpsonNet Setup の［プリンターの選択］画面に対象のプリンターが表示されたらそのまま進み、［TCP/IP の設定］画面でプリンターの IP アドレスをネットワーク環境に合わせて設定してください。 対象プリンターが検索できないときは、セキュリティーキーが間違っている可能性があります。正しいセキュリティーキーを設定してください。 •セキュリティータイプ「WEP」は、アクセスポイントに複数のセキュリティーキーを登録することができます。複数のキーが登録されているときは、最初（1 番目）のインデックスのセキュリティーキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

その他ネットワークの環境について

診断レポートのエラーメッセージの下にはネットワーク環境の情報が表示されます。メッセージとその対処方法は次の通りです。

エラーメッセージ	対処方法
*信号強度が弱くなっています。印刷やスキャンで問題が発生したときは、周囲の無線環境の改善をお勧めします。	電波が弱いために印刷が遅くなる、または途切れる可能性があります。 アクセスポイントとプリンターの距離を短くしたり、間にある障害物を取り除いたりすると改善することがあります。
*設定された無線 LAN のチャンネルは電波が混雑しています。印刷やスキャンで問題が発生したときは、周囲の無線環境の改善をお勧めします。	隣接する部屋や建物など周囲に他の無線ネットワークがあり、電波干渉している可能性があります。 アクセスポイントとプリンターの距離を短くすると改善することがあります。また、アクセスポイントのチャンネル設定を見直すと改善することがあります。詳しくは、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
*信号強度が弱くなっています。設定された無線LANのチャンネルは電波が混雑しています。印刷やスキャンで問題が発生したときは、周囲の無線環境の改善をお勧めします。	電波が弱いために印刷が遅くなったり途切れてしまったりする、または、隣接する部屋や建物など周囲に他の無線ネットワークがあり、電波干渉している可能性があります。 アクセスポイントとプリンターの距離を短くしたり、間にある障害物を取り除いたりすると改善することがあります。また、アクセスポイントのチャンネル設定を見直すと改善することがあります。詳しくは、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

設定や印刷に関するトラブル

ネットワーク設定ができない / ネットワーク印刷ができない

TCP/IP で使用するときは、コンピューターとプリンターが通信できていますか？

本書の「PING コマンドによる通信確認方法」を参照して、通信できているか確認してください。

☞ 66 ページ「PING コマンドによる通信確認」

通信できていないときは、以下の「ハブ、LAN ケーブルなどは正常に機能していますか？」や「TCP/IP で使用するときは、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されていますか？」を参照してください。

ハブ、LAN ケーブルなどは正常に機能していますか？

プリンターの電源が入っていて、プリンターを接続しているハブのポートのリンクランプが点灯または点滅しているか確認してください。リンクランプが消灯しているときは、以下を確認してください。

- 他のポートに接続してみる
- 他のハブに接続してみる
- LAN ケーブルを交換してみる

以上を確認しても通信ができないときは、プリンターが故障している可能性があります。プリンターのマニュアルを参照してください。

プリンターの設定に失敗していませんか？

プリンターの設定に間違いがある可能性があります。購入時の設定に戻してからネットワーク設定をやり直してください。購入時の設定に戻すには、EpsonNet Config で「工場出荷時設定」または「リセット」を実行します。パスワードを忘れてしまったときはインフォメーションセンターにご相談ください。

WSD を使用してセットアップできない

ご使用のコンピューターのOSはWindows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2012/Windows Server 2008 ですか？

WSD は上記 OS の標準のプロトコルです。それ以外の OS では使用できません。

セットアップに失敗していませんか？

各 OS の説明書を参照してセットアップをやり直してください。

設定する IPv4 アドレスがわからない

本書の「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」を参照してください。

ネットワーク管理者がいるときは、管理者に確認してください。

☞ 63 ページ「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」

設定した IP アドレスが変わってしまう

ルーターなどで DHCP 機能を使用していませんか？

DHCP 機能でプリンターに IP アドレスを設定すると、プリンターの電源を入れるたびにコンピューターに設定したプリンターポートを変更しなければなりません。

以下のいずれかの方法でプリンターに固定の IP アドレスを設定することをお勧めします。

- DHCP機能を持つ機器のスコープ(クライアントに割り当てるIPアドレスの範囲)の範囲外のIPアドレスを設定する。
- DHCP 機能を持つ機器のバインドを使用して、プリンターを特定する。
- DHCP 機能を持つ機器で除外アドレスに設定する。

参考
- スコープ範囲、バインド、除外アドレスなどの設定方法は、ルーターなど DHCP 機能を持つ機器のマニュアルを参照してください。
- プリンターをダイヤルアップルーター使用中の環境に設置するときは、必ずその環境のセグメントに合った IP アドレスを設定してください。正しいアドレスを設定しないと、不必要なダイヤルアップが行われる可能性があります。

ただし、EpsonNet Print によるプリンターポートの設定や Bonjour 印刷（Mac OS X で Bonjour を使用のとき）では DHCP 機能が使用できます。

Mac OS X に関するトラブル

プリンターの追加で設定したいプリンター名が表示されない

プリンタードライバーをインストールしていますか？
<http://epson.sn> を参照してプリンタードライバーをインストールしてください。

コンピューターにネットワーク設定をしていますか？
EpsonNet Config（Mac OS X）［ネットワーク I/F プロパティ］画面の［TCP/IP］-［Bonjour］で［Bonjour を使用する］にチェックが付いているか確認してください。

Bonjour で印刷できない

大きなデータの印刷や大きな用紙に印刷していませんか？
Bonjour では、大きなデータや用紙を印刷するときに、コンピューターの HDD に多くの空き容量を必要とすることがあります。
必要とする HDD の空き容量は、用紙サイズ、印刷データ、印刷設定などにより変動します。

コンピューターから印刷を中止してもプリンターの印刷が中止されない

Mac OS X v10.5.8 または v10.6.x で、AirPrint 対応のネットワークプリンターから印刷しているときは、プリンタードライバーからの中止ができません（画面上ではできたように見えますが、実際は中止されません）。
印刷の中止は、プリンター本体の中止ボタンで行ってください。
プリンタードライバーから印刷を中止したいときは、以下の設定をしてください。

1. **Web Config を起動します。**
☞ 59 ページ「Web Config」
2. **［基本設定］-［AirPrint 設定］を選択します。**
3. **［最優先プロトコル］を［Port9100］に変更し、［設定］をクリックします。**
4. **設定の確認画面で「Port9100」に変更されていることを確認し、［設定］をクリックします。**
5. **設定が終了したら、ブラウザーを閉じます。**
使用するポートを変更したので、プリンターリストにプリンターを登録し直します。
6. **［アップル］-［システム環境設定］-［プリントとファクス］を順にクリックします。**
7. **プリンタリストからポートの設定を変更したプリンターを選択し、［−］をクリックしてプリンターを削除します。**
8. **プリンタリスト下の［+］をクリックします。**

9 **［デフォルト］が選択されていることを確認し、リストから追加したいプリンターを選択します。**

10 **［追加］をクリックします。**
このプリンターから印刷を行うと、プリンタードライバーから印刷を中止できるようになります。

AirPrint に関するトラブル

AirPrint で印刷中、複数ページの印刷をしても最後のページしか印刷されないときは、以下を確認してください。

ご使用の iOS のバージョンが古い可能性があります。
AirPrint をお使いのときは、iOS5 以降にバージョンアップしてください。

Wi-Fi Direct(シンプル AP モード)でのトラブル

Wi-Fi Direct（シンプル AP モード）で接続中に動作がおかしいときは、以下を確認してください。

Windows コンピューターに USB タイプのモバイルデータ通信端末を接続してインターネットをご利用のとき、シンプル AP モードでプリンターを接続したらインターネット接続ができなくなった
プリンターとの Wi-Fi Direct（シンプル AP モード）接続と低速のモバイルデータ通信のインターネット接続を同時に使っている場合、プリンターとの接続が優先されて、インターネット接続ができなくなる可能性があります。コンピューターがインターネット接続できなくなった場合は、以下の操作をお試しください。

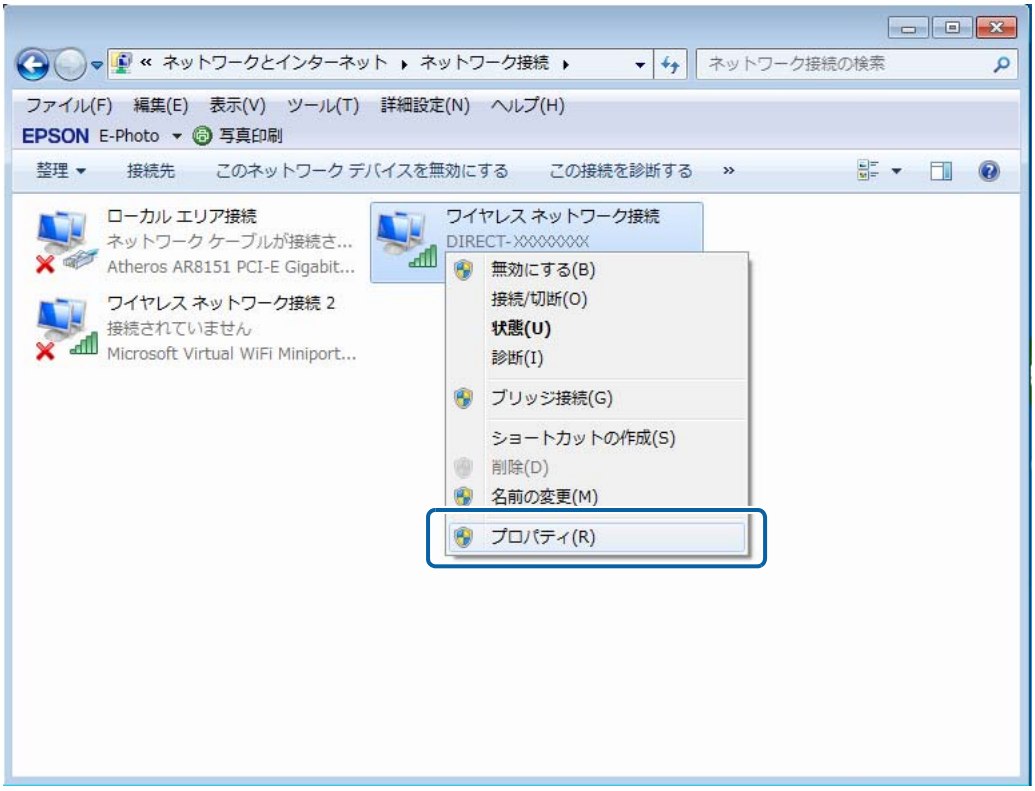
1 **Windows の［ネットワーク接続］画面を表示させます。**

Windows 8/Windows 7/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2：
［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワークの状態とタスクの表示］-［アダプターの設定の変更］の順にクリックしてください。

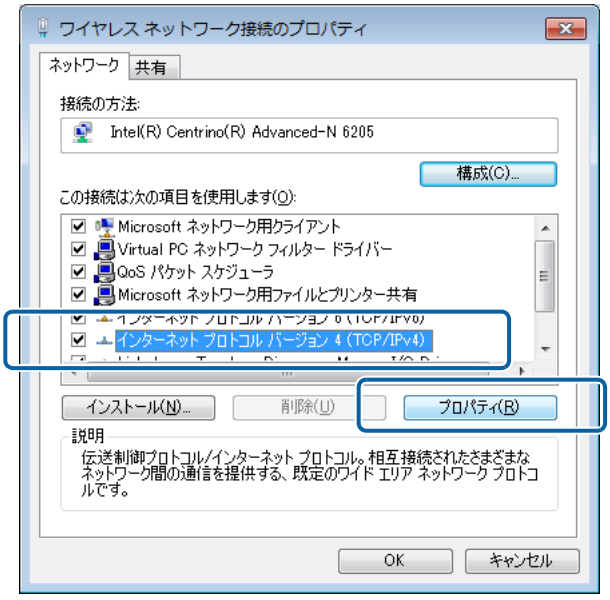
Windows Vista/Windows Server 2008：
［スタート］-［ネットワーク］-［ネットワークと共有センター］-［ネットワーク接続の管理］の順にクリックしてください。

Windows XP：
［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワークとインターネット接続］-［ネットワーク接続］の順にクリックしてください。

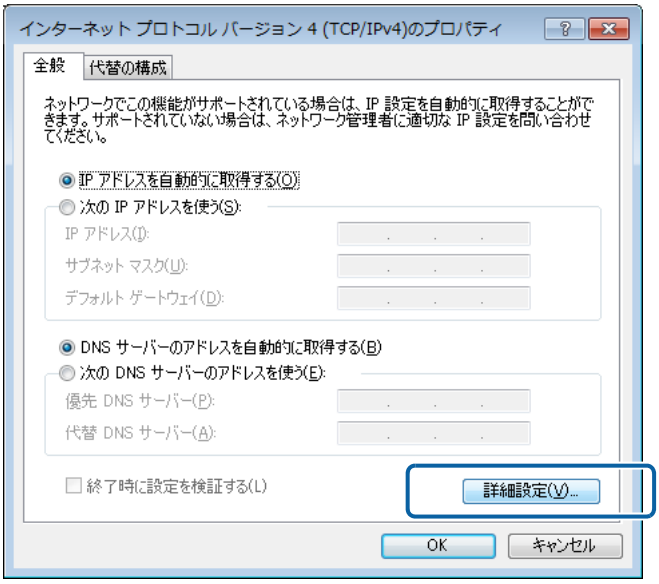
2 [ワイヤレスネットワーク接続]（DIRECT-XXXXXXXX）を選択し、右クリックで表示されるメニューの[プロパティ]を選択します。



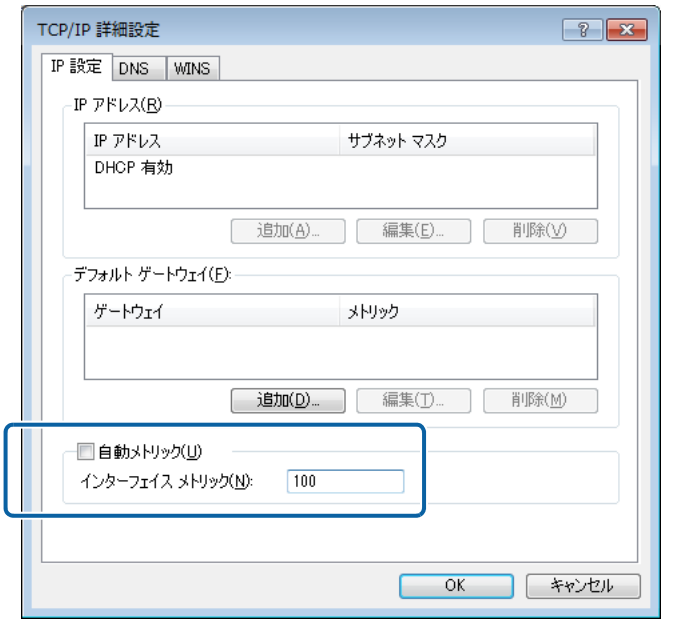
3 [インターネットプロトコルバージョン４（TCP/IPv4)]を選択し、[プロパティ]をクリックします。



4 **［詳細設定］をクリックします。**



5 **［自動メトリック］のチェックを外し、［インターフェイス メトリック］に「100」を入力します。**



6 **表示されている画面を全て閉じます。**

この手順を実行してもインターネット接続ができない場合は、手順 3 の画面で［インターネットプロトコルバージョン 6（TCP/IPv6)］に対しても同じ操作をしてください。

突然 Wi-Fi 接続が切断された

以下の状態になっていないか、プリンターの操作パネルで確認してください。

- プリンターの電源が切れていないか
- Wi-Fi Direct（シンプル AP モード）のセキュリティーキーが変更されていないか
- プリンターのネットワーク設定が変更されていないか

＜ Wi-Fi Direct(シンプル AP モード)のセキュリティーキーが変更された＞

無線機器に登録されている「DIRECT-XXXXXXXX」の接続設定を一旦削除します。そして、もう一度同じ名前の「DIRECT-XXXXXXXX」を選択して、新しいパスワードを入力してください。
詳しい手順は、無線機器のマニュアル等をご覧ください。

＜ネットワーク設定が変更された＞

プリンター操作パネルに表示されるアイコンを確認してください。シンプル AP 以外のアイコンになっているときは、ネットワーク設定が変更されています。アイコンの意味は、以下から確認してください。
☞ 35 ページ「ネットワーク情報の確認」
違うネットワーク設定になっている状態から再度シンプル AP モードの接続に変更するには、プリンターのネットワーク設定を初期化して、プリンターにネットワーク設定がされていない状態から Wi-Fi Direct 接続設定を再度行ってください。
☞ 68 ページ「ネットワーク設定を初期化する」
☞ 23 ページ「Wi-Fi Direct での接続設定」

Web サービスに関するトラブル(対応機種のみ)

Web サービスがセットアップできない、急に使えなくなった場合など、以下を確認してください。

プリンターのルート証明書が失効していませんか？

ルート証明書が失効している場合、該当プリンターの Web Config やパネルにルート証明書の更新を促すメッセージが表示されます。プリンターと同じネットワークにある機器からプリンターの Web Config を開き、ルート証明書を更新してください。
☞ 59 ページ「Web Config」

プリンターのファームウェアが更新されていませんか？

最新版が見つかった場合は、ファームウェアを更新することをお勧めします。
不具合が解消されることがあります。

その他の機能

スキャナーの接続設定（インクジェット複合機のみ）

スキャナーがネットワーク接続できていないときは、「EPSON Scan の設定」を起動して、スキャナーの接続設定を確認してください。

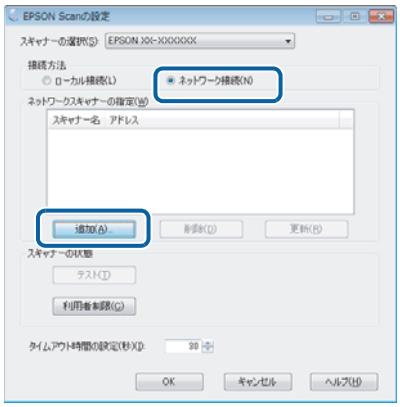
> **参考** Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012 で Epson Scan を使用する場合は、Server OS にデスクトップエクスペリエンス機能を追加インストールしてから EpsonScan をインストールしてください。

1 **EPSON Scan の設定を起動します。**

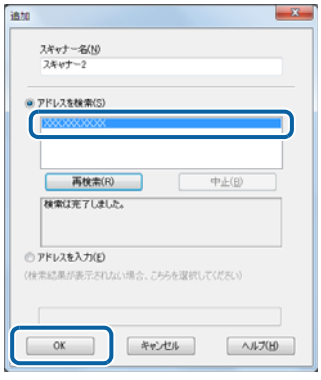
Windows：
［スタート］-［すべてのプログラム］（または［プログラム］）-［EPSON］-［EPSON Scan］-［EPSON Scan の設定］の順にクリック
Windows 8 ではチャームから［検索］を選択し、アプリ名に「Epson Scan の設定」を入力します。検索結果からダブルクリックして起動します。

Mac OS X：
［ハードディスク］-［アプリケーション］-［Epson Software］-［EPSON Scan の設定］の順にダブルクリック

2 **［スキャナーの選択］リストでご使用のスキャナーを選択し、［接続方法］で［ネットワーク接続］をクリックして［追加］をクリックします。**
［追加］画面が表示され、自動的にスキャナーが検索されます。



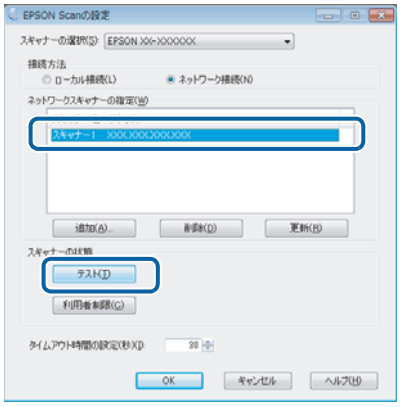
3 **検索が終了したら、IP アドレスをクリックして［OK］をクリックします。**



> **参考**
> - 同じネットワーク上に複数のスキャナーが接続されていたら、［スキャナー名］に設置場所などの名前を付けておくと、IP アドレスが変わってもご使用のスキャナーを特定しやすくなります。
> - ルーターを越えた場所（別セグメント）にあるスキャナーは検索できません。
> - ［スキャナー名］は、全角 16 文字 / 半角 32 文字まで入力できます。

4 **IPアドレスを選択して[テスト]をクリックします。**

[スキャナーの状態] 欄に「接続テストは成功しました。ネットワークスキャナーは使用可能です。」と表示されたら、スキャナーとコンピューターが正しく接続されています。



> **参考** 「スキャナーとの正常な通信ができません。」と表示されたら、スキャナーとコンピューターが正しく接続されているか、スキャナーの電源が入っているかをご確認ください。

5 **[OK] をクリックします。**

以上で終了です。

ファイル共有設定(ファイル共有機能対応機種のみ)

ネットワーク上のコンピューターからプリンターに接続されている外部メモリー(メモリーカードや USB フラッシュメモリーなど)を使用するときの動作モードを変更する手順を説明します。

ネットワークに接続されたプリンターの外部メモリーをネットワークドライブとしてネットワーク共有できます。同じネットワーク内で、プリンターに USB 接続されたコンピューターとネットワーク接続されたコンピューターが混在するときに、ネットワークドライブに対してどちらのコンピューターから読み書き可能にするかを設定します。

!重要 ネットワーク接続優先のファイル共有設定は、「MS Network 共有」の設定値と連動します。
ファイル共有設定で「ネットワーク接続優先」にするには、あらかじめ［セットアップ］-［システム管理設定］-［ネットワーク設定］-［ネットワーク詳細設定］の項目にある「MS Network 共有」を「有効」にしてください。この項目を無効にすると、ネットワークでファイル共有ができなくなります。

参考
- 外部記憶装置として接続された CD/DVD ドライブは、ファイル共有できません。
- 2TB の HDD など大容量の外部記憶装置をファイル共有すると、コンピューターから認識するのに時間がかかることがあります。
- 製品単体で［スキャンしてメモリーカードに保存］機能を使用している間は、ファイル共有されたメモリーカードや外部記憶装置にアクセスできません。

設定

プリンターの操作パネルでファイル共有設定をします。

1 **ホーム画面で［セットアップ］を選択します。**

2 **セットアップ画面で［システム管理設定］を選択します。**

参考 プリンターに管理者設定がされ、パネルがロックされているときはパスワードを入力する画面になります。管理者のパスワードを入力してください。

3 **［プリンター設定］-［外部メモリー設定］-［ファイル共有］を選択します。**

4 **優先する接続形態を選択します。**

参考 ［ネットワーク接続優先］を選択したときに外部メモリーに関するメッセージが表示されたら、内容を確認し［はい］を選択します。

以上で終了です。

確認

ネットワーク共有するためのプリンター名を確認します。

1 **ホーム画面で** **を押します。**

2 **［メニュー］-［ネットワーク設定］-［ネットワーク情報確認］を選択します。**

3 **ネットワーク情報確認画面で「プリンター名」を確認します。**

参考 必要に応じて、プリンター名や IP アドレスをメモしたり、ステータスシートを印刷したりします。

以上で終了です。

接続

Windows の場合

プリンターの外部メモリーをネットワークドライブとして割り当てます。

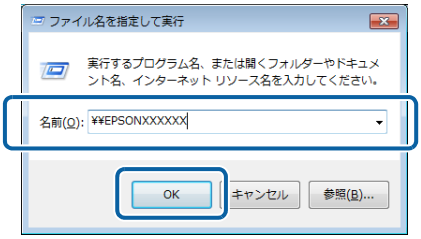
1 **[スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [ファイル名を指定して実行] の順にクリックします。**

Windows 8:
チャームから［検索］を選択し、アプリ名に「ファイル名を指定して実行」を入力して検索結果からダブルクリック

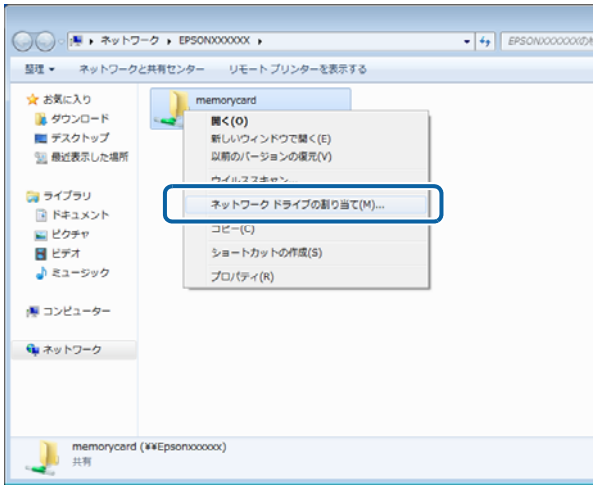
Windows XP/Windows Server 2008/Windows Server 2003:
［スタート］-［ファイル名を指定して実行］をクリック

2 **[名前] に確認したプリンター名を入力して、[OK] をクリックします。**

以下の書式で入力します。￥は半角です。
書式）
￥￥（プリンター名）
または
￥￥（プリンターの IP アドレス）



3 **[memorycard] または [usbstorage] アイコンを右クリックして、[ネットワークドライブの割り当て] をクリックします。**



4 **ネットワークドライブの割り当て画面で必要に応じて［ドライブ］リストから、割り当てたいドライブ名を選択します。**

コンピューターを起動するたびにネットワークストレージを使用するときは、［ログオン時に再接続］をチェックしてください。

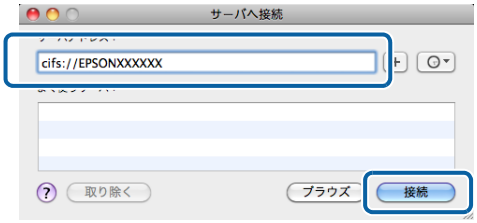
5 **［完了］をクリックします。**
割り当てたネットワークドライブは、マイコンピューター（またはコンピューター）内にハードディスクなどと同様に表示されます。
ネットワークドライブアイコンをダブルクリックすることで、外部記憶装置内のファイルを表示できます。

以上で終了です。

Mac OS X の場合

1 **［移動］-［サーバへ接続 ...］の順にクリックします。**

2 **［サーバアドレス］欄に確認したプリンター名を入力して、［接続］をクリックします。**
以下の書式で入力します。
書式）
cifs://（プリンター名）
または
smb://（プリンター名）



!重要 プリンターから外部メモリーを取り出すときは、事前に、デスクトップにある［メモリーカードドライブ］アイコンなどをゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてから取り出さないと、別の外部メモリーをセットしたときに、共有ドライブの内容が正常に表示されないことがあります。

以上で終了です。

プリンターと機器を一時的に接続するには

プリンターが無線 LAN（インフラストラクチャーモード）で接続されている環境で、アクセスポイントを介さずにプリンターとスマートフォンなどを一時的に直接接続できます。この接続形態を「Wi-Fi Direct モード」と呼びます。
接続する機器によってプリンターとの接続手順が異なります。

参考
- Wi-Fi Direct モードは一時利用の接続形態のため、継続的に使用する場合は無線 LAN（インフラストラクチャーモード）接続をお勧めします。
- Windows および iOS 搭載機器は、Wi-Fi Direct モードでは接続できません。「Wi-Fi Direct での接続設定」をご覧ください。
☞ 23 ページ「Wi-Fi Direct での接続設定」
- Wi-Fi Direct モードで接続できるのは 1 台のみです。
- Wi-Fi Direct モード接続中はプリンターの無線 LAN 接続が切断されるため、無線 LAN 接続からはプリンターが使用できなくなります。なお、Wi-Fi Direct モードを切断するとプリンターは元のネットワーク接続に戻ります。
- Wi-Fi Direct モードで接続中はプリンターのファームアップデートはできません。

Wi-Fi Direct モードでの接続

iOS 搭載機器などの Wi-Fi Direct 非対応の機器や Wi-Fi Direct 対応機器とプリンターを 1 対 1 で接続する手順を説明します。

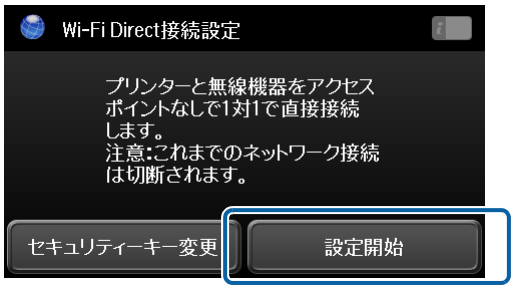
インクジェット複合機の場合

1 **ホーム画面で** **を押します。**

2 **ネットワーク概要表示画面で［メニュー］を押します。**

3 **［Wi-Fi Direct 設定］-［接続設定］を選択します。**

4 **［設定開始］を選択します。**



5 **接続する機器から接続を開始します。**
プリンターの画面に表示される SSID とセキュリティーキーを使って、機器からプリンターに接続してください。機器から Wi-Fi に接続する方法は、機器のマニュアルをご覧ください。以下は参考情報です。
☞ 25 ページ「機器からの接続」

自動で接続されるとメッセージが表示され、プリンターのホーム画面のアイコンが Wi-Fi Direct 接続状態 に変わります。
スマートフォンなどから印刷するときは最新の「Epson iPrint」をインストールしてプリンターをご利用ください。
☞ 60 ページ「Android/iOS 向けアプリ」

以上で終了です。

インクジェットプリンターの場合

1 **ホーム画面で［無線 LAN 設定］を選択します。**
モードの選択画面になっていないときは、【戻る】で表示させてください。

2 **［Wi-Fi Direct 設定］-［接続設定］を選択します。**

3 **「無線機器をアクセスポイントを使わず 1 対 1 で直接接続します。」というメッセージを確認し、［設定開始］を選択して【OK】を押します。**

4 **「これまでのネットワーク接続は切断されます。継続しますか？」というメッセージを確認し、【▲】（はい）を押します。**

プリンターが Wi-Fi Direct モードになります。

5 **画面のメッセージを確認し【OK】（次へ）を押します。**

6 **画面に表示される SSID とセキュリティーキーを使って接続する機器からプリンターへ接続します。**

機器から接続する方法は、機器のマニュアルをご覧ください。以下は参考情報です。
☞ 25 ページ「機器からの接続」

接続した機器が Android 搭載機器の場合は、「Epson iPrint」などを使ってプリンターをご利用ください。

以上で終了です。

Wi-Fi Direct モード接続を対応機器に限定する

プリンターと接続する機器を Wi-Fi Direct 対応機器に限定できます。この機能を有効にすると、Wi-Fi Direct モード接続時にプリンターと機器が相互通信しながら接続を確立するため、SSID やパスワードの入力が必要なくなります。ただし、iOS 搭載機器や Wi-Fi Direct 非対応機器とは Wi-Fi Direct 接続できなくなります。

Wi-Fi Direct 対応機器との接続に限定したい場合は、プリンターと機器を接続する前に 1 度だけ以下の操作をしてください。

1. **ネットワーク情報を表示してプリンターの IP アドレスを確認します。**
☞ 35 ページ「ネットワーク情報の確認」

2. **Web Config を起動します。**
☞ 59 ページ「Web Config」

3. **[基本設定] - [Wi-Fi Direct 設定] を選択します。**

4. **[Wi-Fi Direct 対応機器のみとの接続に限定する] をチェックし [設定] をクリックします。**

5. **ブラウザーを閉じます。**

以上で終了です。

次に Wi-Fi Direct 対応の機器とプリンターを Wi-Fi Direct モードで接続する手順を説明します。機器が Wi-Fi Direct に対応しているかどうかは、機器のマニュアル等でご確認ください。

インクジェット複合機の場合

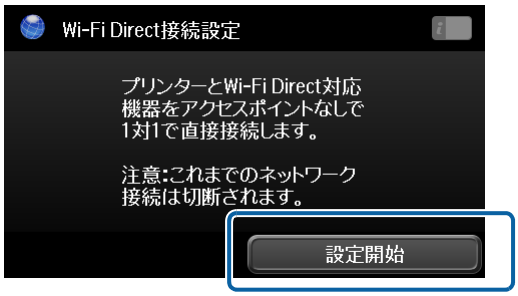
1. **ホーム画面で を押します。**

2. **ネットワーク概要表示画面で [メニュー] を押します。**

3. **[Wi-Fi Direct 設定] - [接続設定] を選択します。**

4. **接続する機器の Wi-Fi Direct 機能を有効にします。**
操作方法は、接続する機器のマニュアルをご覧ください。

5 **［設定開始］を押します。**



機器とプリンターが 1 対 1 で通信します。自動で接続されるとメッセージが表示され、プリンターのホーム画面のアイコンが Wi-Fi Direct 接続状態

に変わります。
スマートフォンなどから印刷するときは、最新の「Epson iPrint」をインストールしてプリンターをご利用ください。
☞ 60 ページ「Android/iOS 向けアプリ」

以上で終了です。

インクジェットプリンターの場合

1 **ホーム画面で［無線 LAN 設定］を選択します。**
モードの選択画面になっていないときは、【戻る】で表示させてください。

2 **［Wi-Fi Direct 設定］-［接続設定］を選択します。**

3 **「Wi-Fi Direct 対応機器をアクセスポイントなしで 1 対 1 で直接接続します。」というメッセージを確認し、【OK】（次へ）を押します。**

4 **「これまでのネットワーク接続は切断されます。継続しますか？」というメッセージを確認し、【▲】（はい）を押します。**
プリンターが Wi-Fi Direct モードになります。

5 **接続する機器の Wi-Fi Direct 機能を有効にします。**
操作方法は、接続する機器のマニュアルをご覧ください。

自動で接続されるとメッセージが表示され、プリンターのホーム画面のアイコンが Wi-Fi Direct 接続状態 に変わります。
スマートフォンなどから印刷するときは、最新の「Epson iPrint」をインストールしてプリンターをご利用ください。

以上で終了です。

Wi-Fi Direct モードの確認方法

プリンターが Wi-Fi Direct モードになっているときは、ホーム画面の接続アイコンが変わります。アイコンのデザインは、機種により異なります。

画面例

プリンターがこのアイコンになっているときは、他のネットワーク接続が中断しています。プリンターと接続されている機器との Wi-Fi 接続が切断されると、プリンターは直前のネットワーク接続に戻ります。ホーム画面のアイコンが変わることで接続の状態を確認できます。

ソフトウェアのご案内

エプソンのネットワークソフトウェアなどを説明します。

印刷用ソフトウェア - EpsonNet Print

Windows でネットワーク印刷をするときに使用するソフトウェアです。OS 標準搭載の印刷方法以外で印刷するときに使用します。EpsonNet Setup を使ってセットアップすると EpsonNet Print ポートが自動で作成されます。

- スプーラー画面にプリンターのステータスを表示できます。
- IPv4 アドレスを自動追従するため、ネットワークインターフェイスのアドレスが DHCP 機能によって自動的に割り当てられても、プリンターポートの設定変更が不要です。
- ルーターを越えた場所にあるプリンター（別セグメントのプリンター）を LPR プリンターとして使用できます。
- 印刷データの送信プロトコル（LPD/Epson 拡張 /RAW）を使い分けることで、印刷方法を３種類から選べます。
- IPv6 アドレスには対応していません。

設定ソフトウェア

プリンターのネットワーク設定を、コンピューターから設定するときに使用するソフトウェアです。

EpsonNet Setup

ウィザード形式で、ネットワーク設定ができるソフトウェアです。画面の指示に従って設定を進めると、ネットワーク設定が完了します。
Mac OS X では、セットアップの案内ページ <http://epson.sn> の案内に従って EpsonNet Setup をインストールしてソフトウェアを起動してください。EpsonNet Setup はネットワーク設定のみします。
Windows では、ソフトウェアディスクからインストーラーでネットワークをセットアップし、プリンターポート (EpsonNet Print) を自動作成します。
画面に表示されない項目（IPv6、DNS サーバーの登録、SNMP など）は、EpsonNet Config で設定してください。

EpsonNet Config（ソフトウェアディスク収録）

ネットワークインターフェイスの各種アドレスやプロトコル（TCP/IP、SNMP）などが設定できるソフトウェアです。詳細はソフトウェアのマニュアルを参照してください。

インストール方法

Windows では、ソフトウェアディスク内の以下からインストールしてください。

CD/DVD ドライブ：¥Network¥EpsonNetConfig¥Setup.exe

CD/DVD ドライブがない場合、または Mac OS X の場合は、EPSON Software Updater を起動して、EpsonNet Config をインストールしてください。

起動方法

Windows の場合

［スタート］-［すべてのプログラム（またはプログラム）］-［EpsonNet］-［EpsonNet Config V*］（* はバージョン名）-［EpsonNet Config］をクリックします。

Windows 8 の場合は、デスクトップ画面でチャームを表示し、［アプリ］-［検索］で「EpsonNet Config」と入力してください。検索結果から EpsonNet Config を起動します。

Mac OS X
［ハードディスク］-［アプリケーション］-［EpsonNet Config V*］（* はバージョン名）-［EpsonNet Config.App］をダブルクリックしてください 。

アンインストール方法

管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

Windows の場合

1 **［スタート］メニューから［コントロールパネル］-［プログラムのアンインストール］を開きます。**

Windows 8/Windows Server 2012:
デスクトップ画面の［設定］チャームから［コントロールパネル］-［プログラムのアンインストール］の順にクリック

Windows XP/Windows Server 2003:
［スタート］-［コントロールパネル］-［プログラムの追加と削除］の順にクリック

2 **削除するソフトウェアを選択して、[アンインストール]（または [削除]、[変更と削除]）をクリックします。**

Windows Vista:
［アンインストール］（または［アンインストールと変更］）をクリックして、［ユーザーアカウント制御］画面で［続行］をクリック

3 **この後は、画面の指示に従ってください。**

Mac OS X の場合

アプリケーションソフトのアンインストールは Uninstaller を使います。Uninstaller は EPSON Software Updater、またはエプソンのホームページからダウンロードしてください。

Uninstaller を起動すると、インストールされているエプソン製アプリケーションソフトが一覧表示されます。アンインストールしたいアプリケーションソフトを選択して、画面の指示に従ってアンインストールしてください。

参考 Uninstaller がない場合は、[アプリケーション] フォルダーにあるプログラムフォルダーをゴミ箱にドラッグ & ドロップしてください。

以上で終了です。

Web Config

Web Config はプリンターの設定を確認・変更できる機能でブラウザーから表示できます。［基本設定］と［詳細設定］のページを切り替えられます。プリンターに IP アドレスが設定されていて、コンピューターと同一のネットワークに接続されている環境でのみ使用できます。

起動

Web Config を使用するためには、以下の設定をしておいてください。

① 設定に使うコンピューターへの IP アドレス設定

② 設定に使うコンピューターへの Web ブラウザーのインストール（JavaScript を有効にする）

③ ネットワークインターフェイスへの IP アドレス設定

参考 お使いの Web ブラウザーによっては、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いの Web ブラウザーおよび OS の説明書を参照してください。

Windows で Web ブラウザーから起動

Windows の場合は Web ブラウザーを起動し、プリンターの IP アドレスをアドレスバーに入力して、［Enter］または［return］キーを押します。

HTTP アクセス

IPv4：http:// プリンターの IP アドレス /　　例）http://192.168.100.201/

IPv6：http://[プリンターの IP アドレス]/　例）http://[2001:db8::1000:1]/

HTTPS アクセス

IPv4：https:// プリンターの IP アドレス /　例）https://192.168.100.201/

IPv6：https://[プリンターの IP アドレス]/ 例）https://[2001:db8::1000:1]/

HTTP でアクセスすると一部機能（［基本設定］ページ）しか表示されませんが、HTTPS でアクセスすると全ての機能（［詳細設定］ページ）が表示されます。HTTPS リダイレクト設定がされていると、HTTP アクセスで［詳細設定］ページが表示されます。

参考
- IP アドレスを自動取得にしているときは、IP アドレスが変わることがあります。以前に入力した IP アドレスやブックマークなどを利用して指定しても Web Config が起動できないときは、プリンターの操作パネルで、プリンターの IP アドレスを確認してください。
- プリンター名が DNS に登録されている場合は、IP アドレスの代わりにプリンター名も使用できます。
- Windows Server 2008 の Microsoft Internet Explorer で本ソフトウェアの起動時に警告画面が表示されたら、内容を確認して［追加］をクリックしてください。

Mac OS X で Safari から起動

1 **メニューから［Safari］-［環境設定］を選択します。**

2 **［ブックマーク］ウィンドウで、以下の項目にチェックを付けます。**
ブックマークバー：Bonjour を表示
ブックマークメニュー：Bonjour を表示

3 **アドレスバー下のメニューに追加された［Bonjour］をクリックして、リストからプリンター（Bonjour プリンター名）を選択します。**
Web Config が Safari 上に表示されます。表示されないときは、プリンターの Bonjour 機能が有効になっているか確認してください。

EpsonNet Config から起動

EpsonNet Config のリスト画面から、設定するプリンターを選択して［ブラウザーの起動］をクリックします。

ネットワークマップから起動

Windows Vista/Windows 7 では、OS に搭載されているネットワークマップから起動できます。

［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワークの状態とタスクの表示］-［フルマップの表示］の順にクリックして、表示された画面でプリンターをクリックします。

Android/iOS 向けアプリ

Epson iPrint は写真や Web、文書などの印刷の他、複合機であればスキャンデータの保存や印刷もできる、Android や iOS で動作する無料のアプリです。詳細は、URL または QR コードからご覧ください。

http://ipr.to

付属のソフトウェア使用時のトラブル

EpsonNet Config/Web Config が起動または設定できない

プリンターに IP アドレスを設定していますか？

Web Config を起動するには、先に EpsonNet Config、またはプリンターの操作パネルで IP アドレスを設定してください。

☞ 35 ページ「ネットワーク情報の確認」

Web Config 起動時に証明書の警告画面が表示された

証明書をインポートしましたか？

プリンターは暗号化通信に対応しているため、コンピューターから Web Config を起動するときにセキュリティ警告が表示されることがあります。ブラウザーにプリンターの自己署名証明書をインポートするか、プリンターに CA 署名証明書をインポートすると警告は表示されなくなります。

☞『システム管理者ガイド』（電子マニュアル）「セキュアなネットワークでプリンターを使う」

設定ソフトウェア起動時に製品名 /IP アドレスが表示されない

［Windows セキュリティの重要な警告］画面やファイアウォールソフトが表示した画面で、［ブロックする］、［キャンセル］や［遮断する］を選択しましたか？

［ブロックする］、［キャンセル］や［遮断する］を選択すると通信ができなくなるため、EpsonNet Setup または EpsonNet Config で製品名が表示されません。

通信を可能にするには、Windows ファイアウォールや市販のセキュリティーソフトで例外プログラムとして登録してください。

!重要 Windows ファイアウォールに例外登録すると、登録されたプログラムが使用するポートが外部からの通信を受け付けられるようになります。これは、ネットワーク経由の攻撃などセキュリティー上の危険性を高めたポートとなることを意味します。具体的なリスクとしては、コンピューターウィルスの侵入などが考えられます。Windows ファイアウォールの設定変更につきましては、このようなリスクなどもご確認の上、お客様の責任において実施していただきますようお願いいたします。
弊社は、この設定変更によって生じた損害および障害につきましては一切責任を負いません。

1 **Windows ファイアウォールの例外プログラムの許可画面を開きます。**

Windows 8:
デスクトップ画面の設定チャームから［コントロールパネル］-［Windows ファイアウォール］-［Windows ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可］の順に選択し、［設定の変更］をクリック

Windows 7:
［スタート］-［コントロールパネル］-［システムとセキュリティ］-［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］の順に選択して、［設定の変更］をクリック

Windows Vista:
［スタート］-［コントロールパネル］-［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］の順に選択して、表示される［ユーザーアカウント制御］画面は［続行］をクリック

Windows XP:
［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［セキュリティ センター］-［Windows ファイアウォール］の順に選択し、表示された画面で［例外］をクリック

Windows Server 2012:
デスクトップ画面の設定チャームから［コントロールパネル］-［Windows ファイアウォール］-［Windows ファイアウォールによるアプリケーションの許可］の順に選択

Windows Server 2008 R2:
［スタート］-［コントロールパネル］-［Windows ファイアウォール］-［Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する］の順に選択

Windows Server 2008:
［スタート］-［コントロールパネル］-［Windows ファイアウォール］-［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］の順に選択

Windows Server 2003:
［スタート］-［コントロールパネル］-［Windows ファイアウォール］の順に選択し、表示された画面で［例外］タブをクリック

2 **例外登録するプログラムを選択します。**

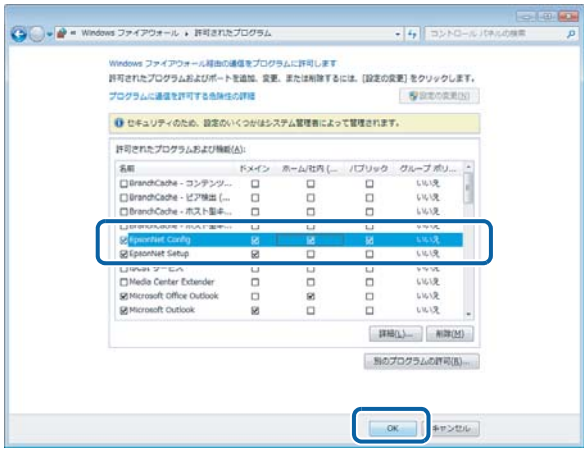
Windows 8/Windows Server 2012:
［別のアプリの許可］をクリックして「EpsonNet Config」を選択し、［OK］をクリックします。

Windows 7/Windows Server 2008 R2:
［別のプログラムの許可］をクリックして「EpsonNet Config」を選択し、［追加］をクリックします。

Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008/Windows Server 2003:
［プログラムの追加］をクリックして「EpsonNet Config」を選択し、［OK］をクリックします。

参考 EpsonNet Setup を追加するときは、付属のソフトウェアディスクをコンピューターにセットして［参照］をクリックし、ソフトウェアディスク内の「ENEasyApp.exe」を選択してください。

3 **例外登録リストに追加されたことを確認して［OK］をクリックします。**



市販のセキュリティーソフトによっては、上記作業をしても表示できないものがあります。そのときは、市販のセキュリティーソフトを終了してから、本ソフトウェアを使用してみてください。

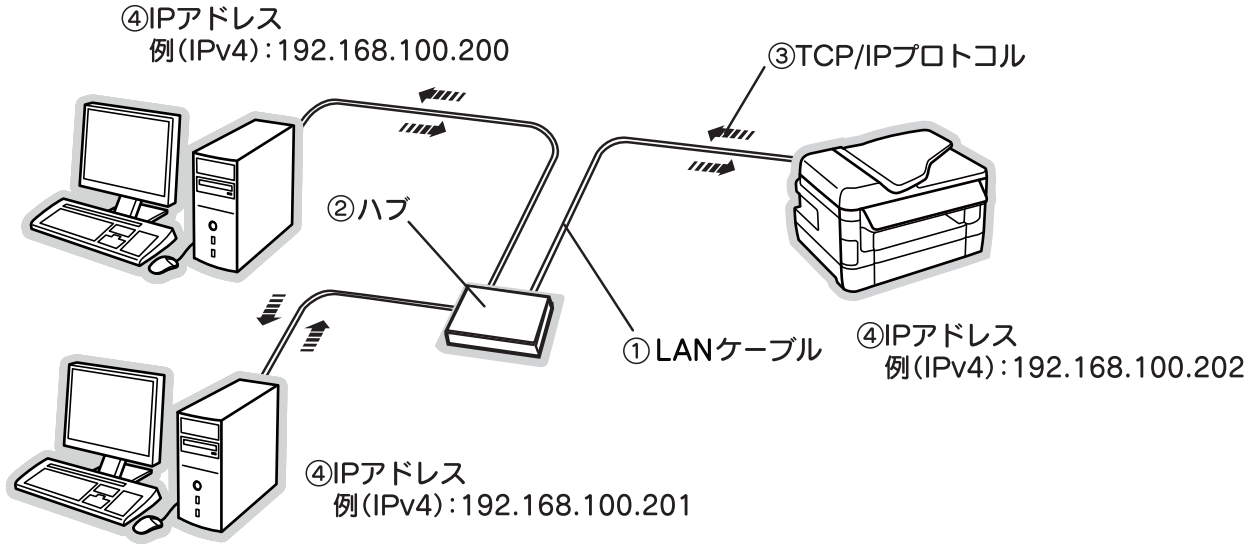
以上で終了です。

通信エラーとする時間を変更してみてください。
EpsonNet Config の［ツール］-［オプション］-［タイムアウト］で、通信エラーとする時間を大きい値に変更してみてください。ただし、EpsonNet Config の動作が遅くなる（検索に時間がかかります）ため注意してください。

付録

ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識

プリンターのネットワーク共有に必要なネットワーク環境を IPv4 アドレスで説明します。



①LAN(ラン)ケーブル

市販の LAN ケーブル（ストレートケーブル）を使用してください。ケーブルの接続の規格は伝送速度によって異なります。プリンターのネットワーク仕様は、プリンターのマニュアルをご覧ください。

②ハブ(HUB)

LAN ケーブルを接続するための集線装置です。ネットワーク上のコンピューターやプリンターはハブを介して接続します。

③TCP/IP(ティーシーピーアイピー)

ネットワークの通信にはさまざまな規約があり（これをプロトコルといいます）、TCP/IP はその中の 1 つです。インターネット上の通信で使用される、世界的な標準プロトコルです。ネットワーク上の全てのコンピューターに組み込む必要があります。

④IP アドレス(アイピーアドレス)

電話機 1 台につき 1 つの電話番号が必要であるように、コンピューターをネットワーク上で使用するには、コンピューター 1 台につき 1 つの識別子（アドレス）が必要です。この識別子のことを IP アドレスといい、電話番号と同様に数字の羅列（例（IPv4）：192.168.192.168）で表されます。ネットワーク上の全てのコンピューターやプリンターに IP アドレスを割り振る必要があります。

☞ 64 ページ「IP アドレス（IPv4 アドレス）の設定」

IP アドレス(IPv4 アドレス)の設定

複数のコンピューターで IP アドレスが重複すると、正常に通信できません。そのため、IP アドレスは世界的な機関で集中管理されています。外部接続（インターネットへの接続、電子メールの送受信など）をするときには、日本ネットワークインフォメーションセンター：JPNIC（http://www.nic.ad.jp/）に申請して、正式に IP アドレスを取得する必要があります（通常はインターネットサービスプロバイダー（通称 ISP）が代行します）。
ただし、外部のネットワークに接続しない閉じた環境では、外部との接続を将来的にも一切行わないという条件のもとに、以下の範囲のプライベートアドレスが使用できます。

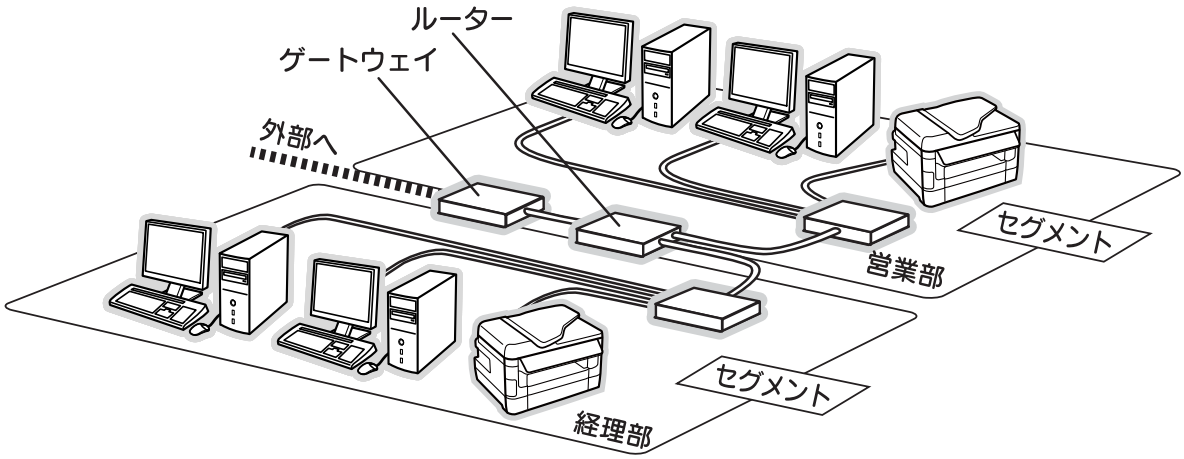
プライベートアドレス	10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
	172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
	192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

IP アドレスの割り振り方

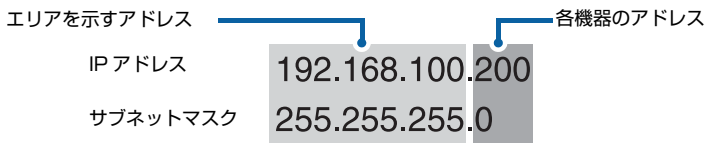
IP アドレスをネットワーク上のコンピューターに割り振る前に、「サブネットマスク」というものを理解しなければなりません。

電話番号に市外局番があるように、IP アドレスにもエリアを示す仕組みがあります。このエリアは、概念的には会社や部門などで分け、物理的にはゲートウェイまたはルーター* といわれる中継器で分けます。

* ゲートウェイ・ルーターとは
同一プロトコルを使用した社内ネットワークで、部門間に設置する中継器をルーター、社内ネットワークと外部（インターネット）との間に設置する中継器をゲートウェイと考えてください。なお、ルーターによって分けられるエリアをセグメントといいます。



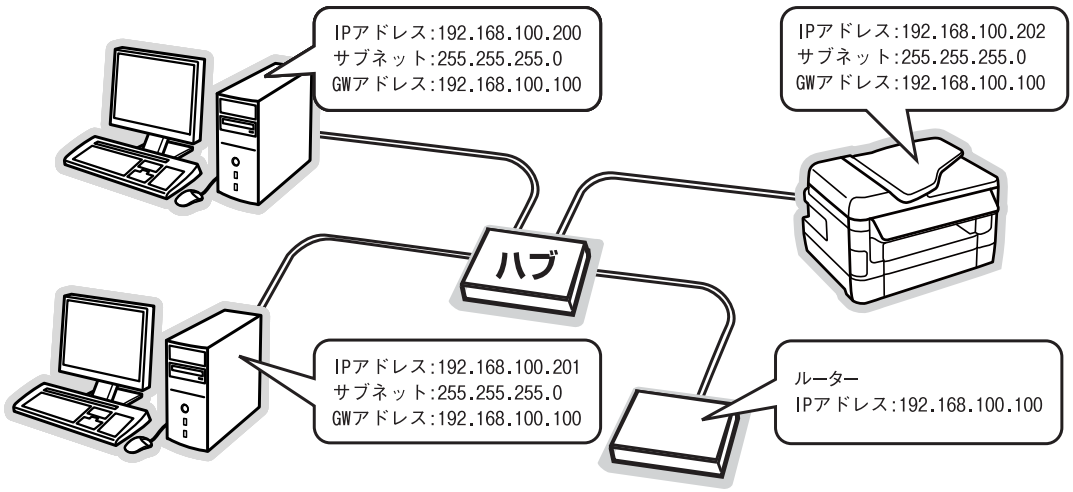
エリアを示す仕組みに利用されるのが、サブネットマスクです。サブネットマスクは、IP アドレスと同様、数字の羅列（例（IPv4）：255.255.255.0）で表されます。
サブネットマスクは、IP アドレスに被せるマスクと考えてください。下表の例では、サブネットマスクの「255」にかかる部分がエリアのアドレス（これをネットワークアドレスといいます）、「0」にかかる部分がエリア内の各機器のアドレスになります。サブネットマスクの詳細な説明は、インターネットなどを参照してください。
＜例＞ IP アドレス（IPv4）が「192.168.100.200」の場合



プリンターを利用するコンピューターは、IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイアドレスなどを設定する必要があります。下表を参考に設定してください。

IP アドレス（IPv4）	あるコンピューターは 192.168.100.200、他のコンピューターには 192.168.100.201、本製品のネットワークインターフェイスには 192.168.100.202 のように、サブネットマスクの「0」にかかる部分の数値を 1 ～ 254 の間で設定してください。
サブネットマスク	通常は、255.255.255.0 で問題ありません。プリンターを利用する全てのコンピューターで同じ値にしてください。
ゲートウェイ（GW）	ゲートウェイになるサーバーやルーターのアドレスを設定します。ゲートウェイがない場合は、設定の必要はありません。

＜例：IPv4 の場合＞



PING コマンドによる通信確認

TCP/IP ネットワーク環境で、コンピューターに設定された IPv4 アドレスとプリンターに設定した IPv4 アドレスを確認してから、コンピューターとプリンターの通信ができているか確認します。

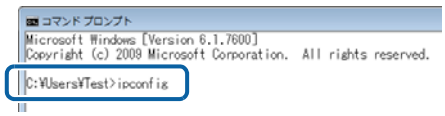
☞ 66 ページ「Windows の場合」
☞ 67 ページ「Mac OS X の場合」

Windows の場合

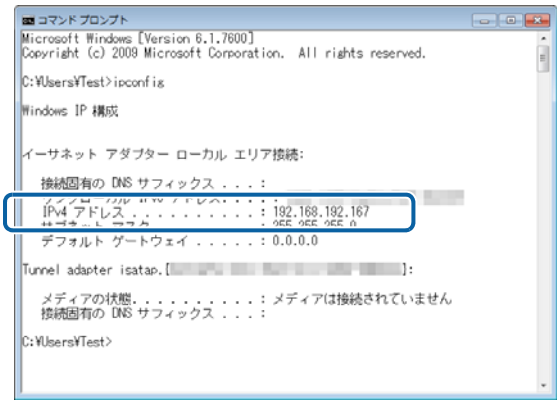
1 **［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（または［プログラム］）-［アクセサリ］-［コマンドプロンプト］を開きます。**

Windows 8/Windows Server 2012:
画面の左端で右クリック -［コマンドプロンプト］をクリック

2 **キーボードから［ipconfig］と入力して、［Enter］キーで実行します。**



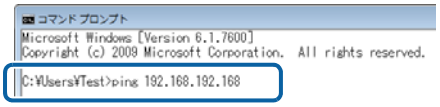
3 **IP アドレスを確認します。**
「イーサネット　アダプター　ローカル エリア接続」の「IPv4 アドレス」を確認します。



4 **プリンターの IP アドレスを確認します。**
プリンターの IP アドレスは、操作パネルで確認できます。

☞ 35 ページ「ネットワーク情報の確認」

5 **キーボードから［ping］スペース［プリンターの IP アドレス］を入力して、［Enter］キーで実行します。**



通信しているときは、図 1 のように［～からの応答：バイト数・・・］が表示されます。
通信できていないときは図 2 のように［～からの応答：宛先ホストに到達できません。］が表示されます。各機器のネットワーク設定を確認してください。

図 1

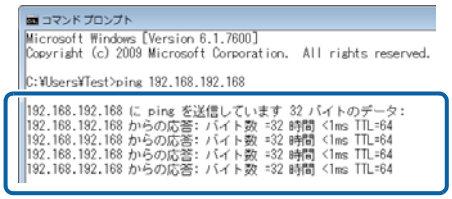
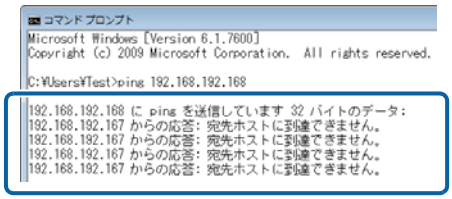


図 2



以上で終了です。

Mac OS X の場合

1 アップルメニュー - [システム環境設定] の順にクリックします。

2 [ネットワーク] をクリックして、[ネットワーク環境:] で [自動] が選択されていることを確認します。

3 画面左側の項目からお使いのネットワーク (Ethernet など) を選択します。

4 [IPv4 の構成] (または [構成]) からネットワーク環境に合わせた項目を選択します。

DHCP サーバーを使用している場合は [DHCP サーバを使用] (または [DHCP サーバを参照]) を選択し、IP アドレスを固定で使用している場合は [手入力] を選択します。

5 [IP アドレス] を確認します。

Mac OS X v 10.5.x:
[IPv4 アドレス] を確認します。

6 [起動ディスク] - [アプリケーション] - [ユーティリティ] - [ネットワークユーティリティ] の順にダブルクリックします。

7 [Ping] タブをクリックします。

8 ネットワークアドレス入力欄にプリンターの IP アドレスを入力します。

プリンターの IP アドレスは操作パネルで確認できます。
☞ 35 ページ「ネットワーク情報の確認」

9 [Ping] をクリックします。

通信しているときは、送信した信号が全て返信されるため、図 1 のように [0.0% packet loss] が表示されます。通信できていないときは、送信した信号が全て返信されないため、図 2 のように [100.0% packet loss] が表示されます。各機器のネットワーク設定を確認してください。

図 1

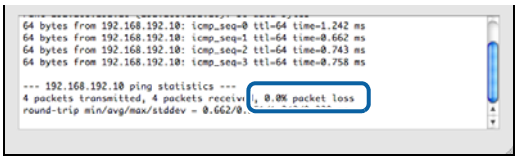
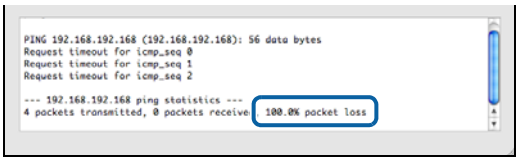


図 2



以上で終了です。

無線 LAN を無効にする

プリンターから無線電波を出さないようにしたい、または無線 LAN 接続から有線 LAN 接続を有効にしたいときは、無線 LAN を無効化します。

インクジェット複合機の場合

1 **ホーム画面で を押します。**

2 **ネットワーク概要表示画面で［メニュー］を押します。**

3 **［無線 LAN 設定］を選択します。**

> 参考 プリンターに管理者設定がされ、パネルがロックされているときはパスワードを入力する画面になります。管理者のパスワードを入力してください。

4 **無線 LAN 設定画面で［無線 LAN を無効にする］を選択します。**

5 **メッセージを確認して［はい］を選択します。**

> 参考 外部メモリーに関するメッセージが表示されたら、内容を確認し［はい］を選択します。

以上で終了です。

インクジェットプリンターの場合

1 **ホーム画面で［無線 LAN 設定］を選択します。**

> 参考 プリンターに管理者設定がされ、パネルがロックされているときはパスワードを入力する画面になります。管理者のパスワードを入力してください。

2 **［無線 LAN を無効にする］を選択します。**

3 **メッセージを確認し［はい］を選択します。**

以上で終了です。

ネットワーク設定を初期化する

プリンターのネットワーク設定を初期値に戻す（初期化）手順を説明します。

インクジェット複合機の場合

1 **ホーム画面で［セットアップ］を選択します。**

2 **セットアップ画面で［システム管理設定］を選択します。**

> 参考 プリンターに管理者設定がされ、パネルがロックされているときはパスワードを入力する画面になります。管理者のパスワードを入力してください。

3 ［初期設定に戻す］-［ネットワーク設定］を選択します。

4 メッセージを確認し［はい］を選択します。

> 参考 外部メモリーに関するメッセージが表示されたら、内容を確認して［はい］を選択します。

以上で終了です。

インクジェットプリンターの場合

1 ホーム画面で［メニュー］を選択します。

2 ［システム管理設定］を選択します。

> 参考 プリンターに管理者設定がされ、パネルがロックされているときはパスワードを入力する画面になります。管理者のパスワードを入力してください。

3 ［初期設定に戻す］-［ネットワーク設定］を選択します。

4 メッセージを確認し［はい］を選択します。

以上で終了です。

機種別ネットワーク機能一覧

以下を参照して、お使いのプリンターが機能に対応しているか確認してください。

PX-M7050F

○：対応　△：条件付き対応　×：非対応

	機能	対応
ネットワークインターフェイス	有線 LAN	○
	無線 LAN（インフラストラクチャー / アドホック /Wi-Fi Direct）	○
	有線 LAN と Wi-Fi Direct（シンプル AP）との同時利用	○
ネットワーク機能	印刷	○
	FTP 印刷	○
	スキャン	○
	ADF スキャン（両面）	○
	スキャンデータ転送 （フォルダー / メール / クラウド /Document Capture Pro）	○
	E メール、ファクス宛先の LDAP 連携	○
	ファイル共有（外部 USB ストレージ）	○
	ネットワーク詳細設定	○
	PC-FAX 受信	○
	PC-FAX 送信	○
	ファクス転送	○
セキュリティー機能	利用者制限	△ *1
	管理者パスワード	○
	SSL/TLS	○
	IPsec/IP フィルタリング	○
	IEEE802.1X（Ethernet/Wi-Fi（WPA2-Enterprise））	○
	SNMPv3	○
Epson Connect サービス	メールプリント	○
	スキャン to クラウド機能	○
Epson iPrint	リモートプリント	○
他社サービス	AirPrint	△ *2
	Google クラウド プリント	○

*1：汎用ドライバーを除く
*2：iOS 5 以降、印刷時の認証あり

PX-S7050

○：対応　△：条件付き対応　×：非対応

	機能	対応
ネットワークインターフェイス	有線 LAN	○
	無線 LAN（インフラストラクチャー / アドホック /Wi-Fi Direct）	○
	有線 LAN と Wi-Fi Direct（シンプル AP）との同時利用	○
ネットワーク機能	印刷	○
	FTP 印刷	○
	スキャン	×
	ADF スキャン（両面）	×
	スキャンデータ転送 （フォルダー / メール / クラウド /Document Capture Pro）	×
	E メール、ファクス宛先の LDAP 連携	×
	ファイル共有（外部 USB ストレージ）	×
	ネットワーク詳細設定	○
	PC-FAX 受信	×
	PC-FAX 送信	×
	ファクス転送	×
セキュリティー機能	利用者制限	×
	管理者パスワード	○
	SSL/TLS	○
	IPsec/IP フィルタリング	○
	IEEE802.1X（Ethernet/Wi-Fi（WPA2-Enterprise））	○
	SNMPv3	○
Epson Connect サービス	メールプリント	○
	スキャン to クラウド機能	×
Epson iPrint	リモートプリント	○
他社サービス	AirPrint	△ *
	Google クラウド プリント	○

*：iOS 5 以降

PX-M7050FP

○：対応　△：条件付き対応　×：非対応

	機能	対応
ネットワークインターフェイス	有線 LAN	○
	無線 LAN（インフラストラクチャー / アドホック /Wi-Fi Direct）	○
	有線 LAN と Wi-Fi Direct（シンプル AP）との同時利用	○
ネットワーク機能	印刷	○
	FTP 印刷	○
	スキャン	○
	ADF スキャン（両面）	○
	スキャンデータ転送 （フォルダー / メール / クラウド /Document Capture Pro）	○
	E メール、ファクス宛先の LDAP 連携	○
	ネットワーク詳細設定	○
	ファイル共有（外部 USB ストレージ）	○
	PC-FAX 受信	○
	PC-FAX 送信	○
	ファクス転送	○
セキュリティー機能	利用者制限	△ *1
	管理者パスワード	○
	SSL/TLS	○
	IPsec/IP フィルタリング	○
	IEEE802.1X（Ethernet/Wi-Fi（WPA2-Enterprise））	○
	SNMPv3	○
Epson Connect サービス	メールプリント	○
	スキャン to クラウド機能	○
Epson iPrint	リモートプリント	○
他社サービス	AirPrint	△ *2
	Google クラウド プリント	○

*1：汎用ドライバー、PostScript プリンタードライバーを除く
*2：iOS 5 以降、印刷時の認証あり

PX-S7050PS

○：対応　△：条件付き対応　×：非対応

	機能	対応
ネットワークインターフェイス	有線 LAN	○
	無線 LAN（インフラストラクチャー / アドホック /Wi-Fi Direct）	○
	有線 LAN と Wi-Fi Direct（シンプル AP）との同時利用	○
ネットワーク機能	印刷	○
	FTP 印刷	○
	スキャン	×
	ADF スキャン（両面）	×
	スキャンデータ転送 （フォルダー / メール / クラウド /Document Capture Pro）	×
	E メール、ファクス宛先の LDAP 連携	×
	ネットワーク詳細設定	○
	ファイル共有（外部 USB ストレージ）	×
	PC-FAX 受信	×
	PC-FAX 送信	×
	ファクス転送	×
セキュリティー機能	利用者制限	×
	管理者パスワード	○
	SSL/TLS	○
	IPsec/IP フィルタリング	○
	IEEE802.1X（Ethernet/Wi-Fi（WPA2-Enterprise））	○
	SNMPv3	○
Epson Connect サービス	メールプリント	○
	スキャン to クラウド機能	×
Epson iPrint	リモートプリント	○
他社サービス	AirPrint	△ *
	Google クラウド プリント	○

*：iOS 5 以降

PX-M5041F/PX-M5040F

○：対応　△：条件付き対応　×：非対応

	機能	対応
ネットワークインターフェイス	有線 LAN	○
	無線 LAN（インフラストラクチャー / アドホック /Wi-Fi Direct）	○
	有線 LAN と Wi-Fi Direct（シンプル AP）との同時利用	○
ネットワーク機能	印刷	○
	FTP 印刷	×
	スキャン	○
	ADF スキャン（両面）	○
	スキャンデータ転送 （フォルダー/ メール / クラウド /Event Manager（PC））	○
	E メール、ファクス宛先の LDAP 連携	○
	ファイル共有	○
	ネットワーク詳細設定	○
	PC-FAX 受信	○
	PC-FAX 送信	○
	ファクス転送	○
セキュリティー機能	利用者制限	△ *1
	管理者パスワード	○
	SSL/TLS	○
	IPsec/IP フィルタリング	×
	IEEE802.1X（Ethernet/Wi-Fi（WPA2-Enterprise））	×
	SNMPv3	×
Epson Connect サービス	メールプリント	○
	スキャン to クラウド機能	○
Epson iPrint	リモートプリント	○
他社サービス	AirPrint	△ *2
	Google クラウド プリント	○

*1：汎用ドライバーを除く
*2：iOS 5 以降、印刷時の認証あり

PX-S5040

○：対応　△：条件付き対応　×：非対応

	機能	対応
ネットワークインターフェイス	有線 LAN	○
	無線 LAN（インフラストラクチャー / アドホック /Wi-Fi Direct）	○
	有線 LAN と Wi-Fi Direct（シンプル AP）との同時利用	○
ネットワーク機能	印刷	○
	FTP 印刷	×
	スキャン	×
	ADF スキャン（両面）	×
	スキャンデータ転送 （フォルダー/ メール / クラウド /Event Manager（PC））	×
	E メール、ファクス宛先の LDAP 連携	×
	ネットワーク詳細設定	○
	ファイル共有	×
	PC-FAX 受信	×
	PC-FAX 送信	×
	ファクス転送	×
セキュリティー機能	利用者制限	×
	管理者パスワード	○
	SSL/TLS	○
	IPsec/IP フィルタリング	×
	IEEE802.1X（Ethernet/Wi-Fi（WPA2-Enterprise））	×
	SNMPv3	×
Epson Connect サービス	メールプリント	○
	スキャン to クラウド機能	×
Epson iPrint	リモートプリント	○
他社サービス	AirPrint	△ *
	Google クラウド プリント	○

* : iOS 5 以降

PX-M840F

○：対応　△：条件付き対応　×：非対応

	機能	対応
ネットワークインターフェイス	有線 LAN	○
	無線 LAN（インフラストラクチャー / アドホック /Wi-Fi Direct）	○
	有線 LAN と Wi-Fi Direct（シンプル AP）との同時利用	○
ネットワーク機能	印刷	○
	FTP 印刷	○
	スキャン	○
	ADF スキャン（両面）	○
	スキャンデータ転送 （フォルダー / メール / クラウド /Document Capture Pro）	○
	E メール、ファクス宛先の LDAP 連携	○
	ファイル共有（外部 USB ストレージ）	○
	ネットワーク詳細設定	○
	PC-FAX 受信	○
	PC-FAX 送信	○
	ファクス転送	○
セキュリティー機能	利用者制限	△ *1
	管理者パスワード	○
	SSL/TLS	○
	IPsec/IP フィルタリング	○
	IEEE802.1X（Ethernet/Wi-Fi（WPA2-Enterprise））	○
	SNMPv3	○
Epson Connect サービス	メールプリント	○
	スキャン to クラウド機能	○
Epson iPrint	リモートプリント	○
他社サービス	AirPrint	△ *2
	Google クラウド プリント	○

*1：汎用ドライバーを除く
*2：iOS 5 以降、印刷時の認証あり

PX-S840

○：対応　△：条件付き対応　×：非対応

	機能	対応
ネットワークインターフェイス	有線 LAN	○
	無線 LAN（インフラストラクチャー / アドホック /Wi-Fi Direct）	○
	有線 LAN と Wi-Fi Direct（シンプル AP）との同時利用	○
ネットワーク機能	印刷	○
	FTP 印刷	○
	スキャン	×
	ADF スキャン（両面）	×
	スキャンデータ転送 （フォルダー / メール / クラウド /Document Capture Pro）	×
	E メール、ファクス宛先の LDAP 連携	×
	ファイル共有（外部 USB ストレージ）	×
	ネットワーク詳細設定	○
	PC-FAX 受信	×
	PC-FAX 送信	×
	ファクス転送	×
セキュリティー機能	利用者制限	×
	管理者パスワード	○
	SSL/TLS	○
	IPsec/IP フィルタリング	○
	IEEE802.1X（Ethernet/Wi-Fi（WPA2-Enterprise））	○
	SNMPv3	○
Epson Connect サービス	メールプリント	○
	スキャン to クラウド機能	×
Epson iPrint	リモートプリント	○
他社サービス	AirPrint	△ *
	Google クラウド プリント	○

*：iOS 5 以降

PX-M741F/PX-M740F

○：対応　△：条件付き対応　×：非対応

	機能	対応
ネットワークインターフェイス	有線 LAN	○
	無線 LAN（インフラストラクチャー / アドホック /Wi-Fi Direct）	○
	有線 LAN と Wi-Fi Direct（シンプル AP）との同時利用	○
ネットワーク機能	印刷	○
	FTP 印刷	×
	スキャン	○
	ADF スキャン（両面）	○
	スキャンデータ転送 （フォルダー/ メール / クラウド /Event Manager（PC））	○
	E メール、ファクス宛先の LDAP 連携	×
	ネットワーク詳細設定	○
	PC-FAX 受信	○
	PC-FAX 送信	○
	ファクス転送（メール / フォルダー）	○
セキュリティー機能	利用者制限	×
	管理者パスワード	○
	SSL/TLS	○
	IPsec/IP フィルタリング	×
	IEEE802.1X（Ethernet/Wi-Fi（WPA2-Enterprise））	×
	SNMPv3	×
Epson Connect サービス	メールプリント	○
	スキャン to クラウド機能	○
Epson iPrint	リモートプリント	○
他社サービス	AirPrint	△ *
	Google クラウド プリント	○

* : iOS 5 以降

PX-S740

○：対応　△：条件付き対応　×：非対応

	機能	対応
ネットワークインターフェイス	有線 LAN	○
	無線 LAN（インフラストラクチャー / アドホック /Wi-Fi Direct）	○
	有線 LAN と Wi-Fi Direct（シンプル AP）との同時利用	○
ネットワーク機能	印刷	○
	FTP 印刷	×
	スキャン	×
	ADF スキャン（両面）	×
	スキャンデータ転送 （フォルダー/ メール / クラウド /Event Manager（PC））	×
	E メール、ファクス宛先の LDAP 連携	×
	ネットワーク詳細設定	○
	ファイル共有	×
	PC-FAX 受信	×
	PC-FAX 送信	×
	ファクス転送	×
セキュリティー機能	利用者制限	×
	管理者パスワード	○
	SSL/TLS	○
	IPsec/IP フィルタリング	×
	IEEE802.1X（Ethernet/Wi-Fi（WPA2-Enterprise））	×
	SNMPv3	×
Epson Connect サービス	メールプリント	○
	スキャン to クラウド機能	×
Epson iPrint	リモートプリント	○
他社サービス	AirPrint	△ *
	Google クラウド プリント	○

*：iOS 5 以降

PX-M350F

○：対応　△：条件付き対応　×：非対応

	機能	対応
ネットワークインターフェイス	有線 LAN	○
	無線 LAN（インフラストラクチャー / アドホック /Wi-Fi Direct）	○
	有線 LAN と Wi-Fi Direct（シンプル AP）との同時利用	○
ネットワーク機能	印刷	○
	FTP 印刷	○
	スキャン	○
	ADF スキャン（両面）	○
	スキャンデータ転送 （フォルダー / メール / クラウド /Document Capture Pro）	○
	E メール、ファクス宛先の LDAP 連携	○
	ファイル共有（外部 USB ストレージ）	○
	ネットワーク詳細設定	○
	PC-FAX 受信	○
	PC-FAX 送信	○
	ファクス転送	○
セキュリティー機能	利用者制限	△ *1
	管理者パスワード	○
	SSL/TLS	○
	IPsec/IP フィルタリング	○
	IEEE802.1X（Ethernet/Wi-Fi（WPA2-Enterprise））	○
	SNMPv3	○
Epson Connect サービス	メールプリント	○
	スキャン to クラウド機能	○
Epson iPrint	リモートプリント	○
他社サービス	AirPrint	△ *2
	Google クラウド プリント	○

*1：汎用ドライバーを除く
*2：iOS 5 以降、印刷時の認証あり

PX-S350

○：対応　△：条件付き対応　×：非対応

	機能	対応
ネットワークインターフェイス	有線 LAN	○
	無線 LAN（インフラストラクチャー / アドホック /Wi-Fi Direct）	○
	有線 LAN と Wi-Fi Direct（シンプル AP）との同時利用	○
ネットワーク機能	印刷	○
	FTP 印刷	○
	スキャン	×
	ADF スキャン（両面）	×
	スキャンデータ転送 （フォルダー / メール / クラウド /Document Capture Pro）	×
	E メール、ファクス宛先の LDAP 連携	×
	ファイル共有（外部 USB ストレージ）	×
	ネットワーク詳細設定	○
	PC-FAX 受信	×
	PC-FAX 送信	×
	ファクス転送	×
セキュリティー機能	利用者制限	×
	管理者パスワード	○
	SSL/TLS	○
	IPsec/IP フィルタリング	○
	IEEE802.1X（Ethernet/Wi-Fi（WPA2-Enterprise））	○
	SNMPv3	○
Epson Connect サービス	メールプリント	○
	スキャン to クラウド機能	×
Epson iPrint	リモートプリント	○
他社サービス	AirPrint	△ *
	Google クラウド プリント	○

*：iOS 5 以降

オープンソースソフトウェアのライセンス契約

オープンソースライセンス契約の詳細は、ソフトウェアディスクの［Manual］内にある Readme ファイルをご覧ください。

Info-ZIP copyright and license

This is version 2007-Mar-4 of the Info-ZIP license.
The definitive version of this document should be available at
ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html indefinitely and
a copy at http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html.

Copyright (c) 1990-2007 Info-ZIP. All rights reserved.
For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.

2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.

3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.

4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

FIRMWARE LICENSE(無線 LAN 関連の記載)

Copyright (c) Marvell International Ltd.

All rights reserved.

DISCLAIMER. THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.